

熊谷市荒川かわまちづくりワークショップ【第3回】

○日程：令和6年11月30日（土）13:30～16:30

○会場：荒川公民館 3階ホール ○主催：熊谷市河川課

○論点：【論点1：方針】【論点2：範囲】【論点3：ゾーニング・主要機能配置】【論点4：活動の展開】

○本日のテーマ：①かわまち計画案とワークショップ意見反映の確認【論点1～3、4（ハード）】
②かわまちでの活動（案）について【論点4（ソフト）】

■プログラム ファシリテーター：澤田俊明（徳島大学客員教授）、アドバイザー：田中規夫（埼玉大学教授）

時間	項目	備考
	※グループで受付け	
13:30 (10分)	1 チェック・イン ・開会、挨拶 ・本日の予定 ・アイスブレイク ・ワークショップについて（目的、テーマ、ルール）	■全体進行 熊谷市 澤田
13:40 (25分)	2 情報の共有 ①第2回ワークショップの振り返り ②社会実験の報告 ③熊谷市荒川かわまちづくり計画（案） ④かわまちづくりでの活動（案） ⑤アドバイザーコメント	■全体進行 ①いであ ②いであ ③熊谷市 ④いであ ④田中
14:05 (5分)	3 ワークショップ 1) 本日の進め方 ★グループは事前に設定（4グループ）	■全体進行 澤田
14:10 (55分)	2) 検討① かわまち計画案の確認【論点1～3、4（ハード）】 ・意見反映の確認 10分 ・意見交換 45分：拠点整備図にシール貼り（賛成：緑、懸念：赤） その他意見はポストイット （賛成：緑、懸念(課題、留意点)：ピンク、その他：黄）	■テーブル 進行
15:05	休憩	
15:15 (45分)	3) 検討② 市民・行政協働でのかわまち活動（案）について【論点4（ソフト）】 ・意見交換 40分：提案活動についてポストイット （賛成：緑、懸念(課題、留意点)：ピンク、その他：黄） ・シール投票 5分（赤1枚、黄1枚、緑1枚）	■テーブル 進行
16:00 (20分)	4) テーブル確認・発表 4グループ ・各テーブル・ホスト発表（4テーブル） 20分	■全体進行 澤田
16:20 16:30	4 チェック・アウト ・シールアンケートのお願い（意見が言えた、意見が聞けた、時間、ワークショップ満足） ・アドバイザーのコメント＆ファシリテーターのコメント・ふりかえり ・今後の予定 ・連絡事項、挨拶、閉会	澤田、田中 熊谷市

（配布資料）

- ・00 プログラム（第3回）、WS参加者のみなさんへ ・01 第2回ワークショップ・ニュースレター
- ・02 社会実験の報告 ・03 意見まとめ ・04 熊谷市荒川かわまちづくり計画（案）
- ・05 かわまちづくりでの活動（案） ・06 今後の予定

WS（ワークショップ）参加者のみなさんへ

●WSの2つの目的

1. かわまちづくりへ、アイデアや意見を出そう
2. かわまちづくりで、仲間をつくろう

●WSでの2つのお願い

1. 積極的に、自分の意見を述べよう
2. 積極的に、他の参加者の意見を聞こう

●WSのルール（多くの人が集まる場）

- ・ルール1：意見の存在は認める ＝ 否定はしない

（背景）多様な見方、多様な環境：意見の違い → 正常な状態

- ・ルール2：ワークショップは、個人資格での参加とします

（参考）合意形成とは

多様な価値の存在を認めながら、人々の立場の根底に潜む価値を掘り起こして、その情報を共有し、お互いに納得できる解決策を見いだしていくプロセスのこと

※合意形成マネジメント協会（代表：哲学者・桑子敏雄氏、熊谷高校出身）

第2号

令和6年8月

第2回ワークショップ開催

具体化したかわまちづくり計画について、意見を出し合いました！

8月31日(土) 13時30分より荒川公民館にて、第2回熊谷市荒川かわまちづくり計画ワークショップを開催しました。幅広い年齢層の市民の方々25名に参加頂きました。

第2回ワークショップでは、第1回ワークショップで頂いた基本方針や活動・活用のアイデアのご意見を踏まえ、整備メニュー(案)など、具体化したかわまちづくり計画(案)について意見交換を行いました。



▼詳細はこちら



ワークショップ開催概要

日時：8月31日(土) 13時30分～16時30分 | 会場：熊谷市荒川公民館
 主催：熊谷市 建設部河川課
 協力：ワークショップアドバイザー(田中規夫、埼玉大学)
 ファシリテーター(澤田俊明、徳島大学)、いであ(株)

検討テーマ：テーブル1 計画範囲、ゾーン・主要機能配置、社会実験
 テーブル2 活動・活用のアイデア
 テーブル3 かわまちづくり計画と熊谷駅等とのつながり

ワールド・カフェ形式の意見交換で参加者意見の相互理解を深めました

全体：第1回ワークショップの振り返り：基本方針

かわまちづくり計画の基本方針に第1回ワークショップ意見が反映されました

第1回ワークショップで頂いたご意見を第1回協議会で検討し、基本方針の文言に「子どもから大人まで」、「周辺まちづくり計画との連携やまちとのつながりを重視する」等の文言が追加されました。

テーブル1：計画範囲、ゾーン・主要機能配置

第1回ワークショップ意見及び計画登録後5年間の実現性を踏まえ設定した計画範囲、ゾーン・主要機能配置について意見交換を行いました。以下、意見概要です。

凡例 ● 1班、● 2班、● 3班
 ● 賛同・提案、▲ 懸念

【計画範囲のご意見】

- 先ずコアエリア優先で
- 1期は提案通り。2期目は大麻生公園から久下橋として欲しい
- 久下橋、大麻生公園を超える範囲は限界がある
- ゾーンに大麻生公園を加えてほしい(ゴルフ場側の坂路の整備必要)

【ゾーン・主要機能配置のご意見】

- 各ゾーンの場所は賛同
- ゾーニングはOK ● ゾーン設定は良い
- ゾーニングはいいと思う ● 水辺のゾーン○
- 歴史文化体験ゾーンに万平公園(万平堤)を含める
- 歴史文化のサブゾーン、万平公園の活用(旧堤敷)

【各ゾーンの主要機能に関するご意見】

- スポーツ健康文化交流ゾーン
 - ランニングコース(川辺) いいね
 - 桜並木の箇所は涼しいので道の整備が望ましい
 - バーベキューは特に必要です。車は有料で
 - 着替えができるスペースがあるといい
 - 地元のスポーツ選手を呼んだスポーツ教室
 - 市民活動との連携(市民ボランティアとの連携)

ゾーン設定と各ゾーンの主要機能(事務局案)



➢ 水辺の憩いゾーン

- 夏がメインの感じがするので、他の季節も楽しめるような空間だといと思います
- ▲ 白鳥が来るので開発しないで。

➢ 自然環境保全・環境学習ゾーン

- ▲ コイの繁殖地でもあるので自然破壊しないよう注意して(基本はあまり手を加えない)
- ムサシトミヨの生息地を大切に

➢ 歴史文化体験ゾーン

- 桜や自然だけでなく、熊谷の歴史を感じさせて

➢ その他

- 命を守ること優先(核シェルターの整備)

テーブル1：社会実験

【社会実験へのご意見】

- 社会実験 有料バーベキュー
- BBQで社会実験は賛成です。
- 有料バーベキューをやってみて！！
- バーベキュー社会実験Good！

注 ワールド・カフェ形式：少人数の班で自由な対話を行い、他のテーブル移動して対話を続けることで、参加者意見や知識を集め、共感や相互理解を深めることができる手法です (裏面に続く)

テーブル2：活動・活用アイデア

整備メニュー（ハード・ソフト施策）案をについて、意見交換を行いました。以下、意見概要です。

➤ スポーツ健康文化交流ゾーン

- 家族や仲間と触れ合えるバーベキュー場の開設
- 河川敷に正規有料のBBQエリアを設置
- ピクニックやバーベキュー等、道具のレンタル
- 子ども達が自然とふれあえる広場
- お年寄りもスポーツできる自然を活かした常設のマレットゴルフコース
- イモ煮会でもいいですか（山形風）
- トイレの数を増やしたい
- ▲ バリアフリーのスロープにするのであれば、降りた先も障害者の方でも利用しやすくしてほしい
- ▲ 体育館のアプローチデッキから荒川土手へ降りられると至便では？
- ▲ 階段式護岸で緑の土手をコンクリにしないで
- ▲ 東屋よりも大きな木を育てたい
- ▲ 遊びの広場のためにサッカーとか今の利用者をしめ出さないで。遊び道具等を常設しないで。
- 駐車場は体育館用と川遊び用で分ける
- ▲ 水辺の散策路は暑くて歩けない。ワンドや川遊びに行くため、川沿いに車道＋駐車場が良いのでは
- 交通手段としてシェアサイクルの活用はどうか

かわまちづくり計画 ハード・ソフト施策(事務局案)



アドバイザーコメント（埼玉大・田中教授）
「水辺の安全との関連」と「民間を含める等の維持管理上の運営の仕組みづくり」の視点が重要だと感じました



➤ 歴史文化体験ゾーン

- 安藤野雁（あんどうぬかり）の歌碑があるが、俳句を吟じながらのウォークもいいかも
- 歩きで対岸に渡れる橋があると良い。かつては小舟で南岸まで渡った。小舟を並べて歩道に
- 桜堤の保全。桜百選として名所になってほしい
- 桜の木オーナー制度などでより良い桜並木に

➤ 水辺の憩いゾーン

- 水辺の散策路は欲しいです
- 子供も老人も安全に清涼感のある散歩が楽しめるが良い
- ボート賛成。暑い熊谷ならではの荒川を利用できるスポーツを
- ▲ 水辺利用の安全性を確保してください

➤ 自然環境保全・環境学習ゾーン

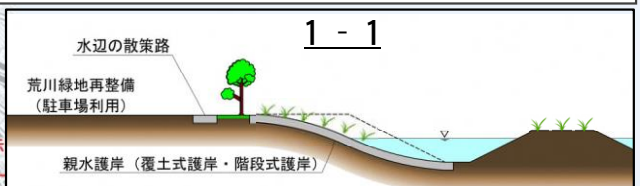
- ▲ 自然学習のために自然をこわさないで。

➤ その他 維持管理・運営

- ボランティアと市と協力し合った管理を！
- ▲ ソフトサービスの運営をどのように行うのか懸念

➤ その他 核シェルター

- 核シェルターだけは絶対に必要（公園等に設置）



アドバイザーコメント（埼玉大・田中教授）
閑静な住宅街に悪い影響を与えずにどのように賑わいを創出するか、またはどのように閑静な状態を保つかを検討し、どのようにかわまちづくり計画を成功させるかの視点が重要だと感じました



テーブル3：かわまちづくり計画と熊谷駅等とのつながり

かわまちづくり計画と熊谷駅等とのつながりについて、意見交換を行いました。以下、意見概要です。

➤ 自動車アクセス 渋滞対策・交通ネットワーク

- 通常時とイベント時の人と車の動きに応じた計画を考えて頂きたい。イベント時の人の安全確保
- 荒川大橋から直接左折で入る坂路。大通りなので住宅街を通らない

➤ 坂路、駐車場を複数に

- 河川敷、体育館の利用者増加が見込まれるので車と人のアクセスを良くする必要がある
- ▲ 南大通りの混雑。大麻生側の坂路からの車の利用
- ▲ 河川敷への坂路は2ヶ所（上流・下流）必要
- 万平公園の歩道橋のある道から土手への坂路
- 見晴らし公園出入口を考えた駐車場を作る
- ▲ 荒川河川敷駐車場に限られた土地であるため、新市民体育館には併設して立体駐車場を設けるべき
- ▲ 体育館の規模拡大すると駐車台数も増やさないとパンクする！

➤ 歩行者のアクセス

- 車と人の動線の分離（堤防道路、坂路）
- 駅からの車のアプローチはNG。人間のみ。車を遠くから導いていく案で進めたい
- 駅から歩行者のみの広いメインストリートを作る
- 駅から専用歩道橋、ペDESTリアンデッキ

➤ アクセス動線 検討A案・B案・C案について

- A案＋大型バス入口、A案がいい（合理的）
- ▲ A案 新体育館のために公園をつぶすのは反対
- A案 駐車場が他の案よりも大きくて体育館利用車に便利だと思う。公園の範囲が狭まるのは残念
- ▲ A案 B案 C案 公園を小さくして箱物を作るのは自然破壊では？ 道をつぶさないで
- ▲ A案B案あり得ない。C案も賛成ではないが道を考えればC案の道路計画が一番かと思う
- ▲ 公園の木々を守って

【お問い合わせ】

■主催 熊谷市建設部河川課（担当：瓜田・溝口）

TEL：048-524-1111 FAX：048-525-8878

〒360-8601 埼玉県熊谷市宮町二丁目47番地1

ご参加ありがとうございました



©Kumagaya City



熊谷市荒川かわまちづくり

社会実験

会場 / 熊谷荒川緑地 (入場無料)
時間 / 10:00 ~ 15:00 ※雨天中止

「かわまちづくり」とは

地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、地域活性化や観光振興などを目的に、市町村や民間事業者、地域住民等と河川管理者が各々の取り組みを連携することにより「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間を形成し、河川空間を活かして地域の賑わい創出を目指す取り組みです。

- 河川敷地内は駐車スペースが限られています。徒歩か自転車での来場にご協力をお願いいたします。
- 会場内外での手荷物の管理やケガについては、自己責任にてお願い致します。
- ゴミは各自でお持ち帰りください。
- 気象状況によりイベント内容は変更になる場合があります。
- 会場ではスタッフが写真の撮影を行います。これらの撮影物はHPやチラシ等々に使用・掲載させていただくことがございますので、予めご了承ください。

- 詳細はQRコードからご確認ください。
- 状況により一部変更または中止の可能性があります。



手ぶらで遊べるコーナー

荒川緑地でいろいろな遊びを体験しよう！

自由に組み合わせて遊べる移動式遊具や、モルックなどのインクルーシブな遊びを、どなたでも無料で楽しめます。

場所：あそびのひろば

モルック、風船バレーボール
大なわの貸し出しもあるよ！

※1 インクルーシブな遊び
障がいの有無や年齢、性別、国籍などに関わらず、すべての子どもが遊べる遊び



写真提供 / 株式会社コトブキ

手ぶらでもピクニックコーナー

自然の中でくつろごう！

誰でも自由に使えるイスやテーブル、ハンモックを設置します。
開放的な水辺空間でくつろいでみませんか？
遊びながら防災を学ぶ、ポールテント張りも体験できます。

場所：ピクニックひろば

ポールテント張り体験

● 第1回 10:00-11:00 (先着6組)

● 第2回 11:00-12:00 (先着6組)



水辺の生きもののコーナー

荒川の水辺の生きものと 触れ合おう！〈桜木小学校とのコラボ企画〉

川にはどんな生きものがいるのかな？
荒川河川敷に生息する生きものの展示や
桜木小学校の児童が行う水質調査の結果
をご覧ください。

場所：いきもののひろば

水辺の生きものを
見てみよう！



魚の水槽展示



水生昆虫トビゲラ類



ラグビーボールに触れてみようコーナー

タグラグビーを体験してみよう！

タグラグビーのルール説明やパス練習
など、楽しく学んで体験できます。
簡単なので、こどもから大人まで
どなたでもご参加いただけます。

場所：あそびのひろば（自由広場）

持ち物：動きやすい服装・運動靴
飲み物・タオル

ラグビーボールを
投げてみよう！



..... 熊谷駅・文化センター前バス停からのアクセス



熊谷市荒川かわまちづくり

- 開催日：2024年10月6日（日）
- 会場：熊谷荒川緑地
- 主催：熊谷市建設部河川課

■ お問い合わせ

熊谷市建設部河川課（担当：瓜田・溝口）
TEL: 048-524-1111 FAX: 048-525-8878
埼玉県熊谷市宮町二丁目47番地1

～熊谷市荒川かわまちづくり 社会実験 報告～

日 時：10月6日(日) 10時～15時 | 会 場：熊谷荒川緑地 自由広場

参加人数：60～70名（うち小学生以下20人程度）

実施概要：かわまちづくり計画への地域参加の取組として、水辺の新たな利活用にチャレンジする社会実験を実施しました。今回チャレンジしたメニューは、地域の仲間やご友人、ご家族で楽しく過ごす空間や、楽しみながら熊谷のラグビー文化や荒川の自然環境への親しみ、豪雨災害への備えの意識を醸成する利用にチャレンジしました。当日は小雨気味の天気でしたが、60～70名の方に参加頂き参加後にアンケートにもご協力いただきました。ご協力ありがとうございました。

手ぶらできても遊べるコーナー

誰もが自由にスポーツや健康づくりを楽しむ空間のづくりのチャレンジ！

自由広場内に、障害の有無や年齢、性別、国籍などにかかわらず、すべての子どもが遊べるインクルーシブな遊び場をつくりました。自由に組み合わせて遊べる移動式遊具や、モルック、風船バレーボールなど、子どもから大人まで楽しみました。



移動式遊具



ジャンピング遊具

ブロックの配置を変えることで、年齢に応じた遊び方ができる遊具です。幼児から小中学生、大人(^)まで、みんなで楽しんでいました。

みんなで一緒に跳ねて遊べるジャンピング遊具です。友達と飛び跳ねて楽しんでいました。



大縄

グループで大縄とびを楽しんでいました。



風船バレーボール

元気よく風船バレーボールを楽しんでいました。



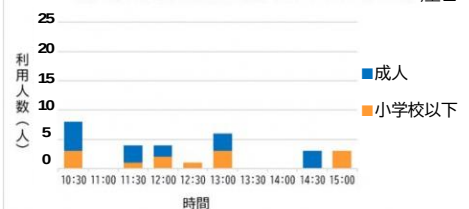
モルック

モルックは木の棒を倒して数を合計して楽しむゲームです。子どもから大人まで一緒に楽しんでいました。

こどもアンケート（感想）

- ・モルックが楽しかった
- ・ふうせんバレーがたのしかった
- ・ゆうぐがたのしかった

30分毎の属性別利用人数（あそびのひろば）注1



手ぶらでもピクニックコーナー

多様な世代の人との出会いと交流を育む憩いの空間づくりのチャレンジ！

荒川緑地の広場にイスやテーブルを設置して休憩コーナーとしました。お昼の時間帯を中心に多くの方が休憩したり、キッチンカーのご飯を食べたり、遊んでいる子ども達を見守りながら談笑をして寛いでいました。ハンモックでは、子どもから大人まで、のんびりとした時間を過ごしていました。



【活用教材】
水防災かるた



大雨だ！
川の水位に
注意しよう

出典：国土交通省
北海道開発局
ウェブサイト

遊びながら災害にそなえる

豪雨災害への備えを学ぶ水防災カルタやテント利用を体験していただきました。



キッチンカー

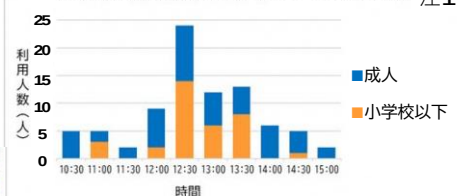


休憩コーナー（テーブル・イス）

こどもアンケート（感想）

- ・ハンモックが楽しかった
- ・大人とやったかたが楽しかった

30分毎の属性別利用人数（ピクニックひろば）注1



休憩コーナー（ハンモック）

水辺の生きものコーナー

荒川の水辺の生きものと触れ合いイベントのチャレンジ！

荒川の豊かな自然環境の魅力の情報発信を目的に荒川に生息する水生昆虫や魚などの生き物の展示や、ふれあいコーナーを設けました。

子どもたちは生き物との触れ合いを夢中になって楽しんでいました。大人の方も、荒川の生き物の種類が多い事を知って驚いていました。

保護者の方からは、「子どもたちが生き物に触れ合う機会が少ないので、とてもいいですね」とのコメントをいただきました！

水槽展示（魚）



オイカワ



荒川に色々な魚がいるんだあ



テナガエビ

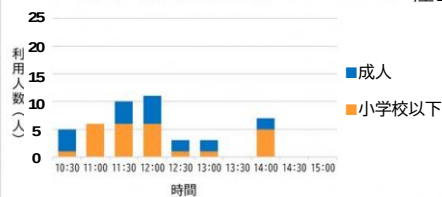
テナガエビにさわったよ！

水槽展示（水生昆虫・甲殻類）

こどもアンケート（感想）

- ・さかなをはじめてさわったのでたのしかったです
- ・さかなをさわられてうれしかったです
- ・思ったよりたくさん種類がいて楽しかった

30分毎の属性別利用人数（いきものひろば） 注1



トンボの幼虫
コオニヤンマ
だよ

これ
なん
ですか？



コオニヤンマ

ラグビーボールに触れてみようコーナー

スポーツや健康づくりを楽しむイベントのチャレンジ！

スポーツを通じた地域交流や熊谷ラグビー文化の発信を目的に熊谷市ラグビー部とコラボし、タグラグビー体験イベントを実施しました。

パスのやりかたやルールを講師に教えてもらい、子ども達が元気いっぱい、タグラグビーを楽しみました。



タグラグビー体験

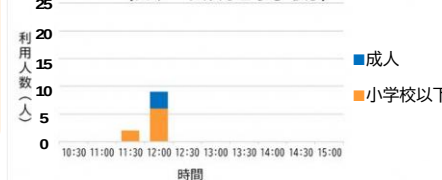


タグラグビーは
子どもから大人
までだれでも楽
しめるスポーツ
です

こどもアンケート（感想）

- ・タグラグビーが楽しかったです
- ・タグラグビーでみんなで協力できてたのしかったです！
- ・タグラグビーがかってうれしかったし、楽しかったです

30分毎の属性別利用人数（スポーツけんこうひろば） 注1



パネル展示コーナー

下記のパネル展示を行いました

・熊谷市荒川かわまちづくり計画検討内容のご紹介

かわまちづくり計画基本方針や市民ワークショップの検討状況、市民アンケート調査結果をまとめて紹介

・防災パネル（ハザード情報等）

災害リスク情報の共有を目的に熊谷市防災ハザードマップや熊谷水位観測所の川の防災情報を紹介

・荒川の自然環境

荒川の自然環境（荒川読本）や国土交通省の荒川水系流域治水プロジェクトの内容を紹介



アンケートコーナー（一般用・子ども用）

参加いただいた皆さまに、参加した感想やかわまちづくり計画へのご意見をいただきました。ここでは、小学生以下の参加者から頂いたご意見の一部をご紹介します。

こどもアンケート： かわまちづくりへのみんなの意見 （抜粋）

- ・お水遊びがしたい
- ・かくれんぼができるばしょがほしい
- ・みんなであそべるばしょがほしい
- ・友達とアスレチックがしたい
- ・宝探しをしたい！！
- ・川遊びするところがほしい
- ・自分でつかまえた生き物を展示できる場所になってほしい
- ・動物園が欲しい
- ・友達とサッカーをしたい
- ・お祭りができる場所になってほしい

Q 荒川や荒川緑地が将来どんな場所になったらいいと思いますか



※注1 カメラ画像を元に30分間隔でその時点の利用人数を計測（全利用人数とは異なる）。属性分類は目視で判断可能な範囲で分類

【お問い合わせ】 熊谷市建設部河川課（担当：瓜田） TEL：048-524-1111 FAX：048-525-8878

かわまちづくり社会実験 アンケート結果

熊谷市役所 建設部河川課

熊谷市では荒川緑地および周辺の水辺空間を対象とする「熊谷市荒川かわまちづくり計画」の策定に向け社会実験を実施した。社会実験は施策の計画づくりの段階で、地域の方の参加のもと、新たな利活用を試行的にやってみる取組であり、社会実験実施と合わせ、地域意見の確認のため、社会実験イベント参加者へのアンケート調査を行った。

■ 熊谷市荒川かわまちづくり社会実験

■ 会場 熊谷荒川緑地(入場無料)

■ 日時 2024年10月6日(日) 10:00~15:00

■ 天気 雨時々曇り

■ アンケート調査概要

①一般参加者対象アンケート調査(対象:中学生以上の参加者)

調査方法:アンケート用紙への記入

回答数 :39人

調査項目:社会実験の感想、かわまちづくり計画へのご意見

②子ども対象アンケート調査(対象:小学生以下の参加者)

調査方法:意見カードへの記入

回答数 :18人程度※複数回答可なため

調査項目:みずべ利用チャレンジアンケート(楽しかったコーナーとその感想)

かわまちづくりへのみんなの意見



※自然観察会は雨天のため延期。当日はいきもの観察コーナーを自由広場に設置。

図 社会実験開催概要

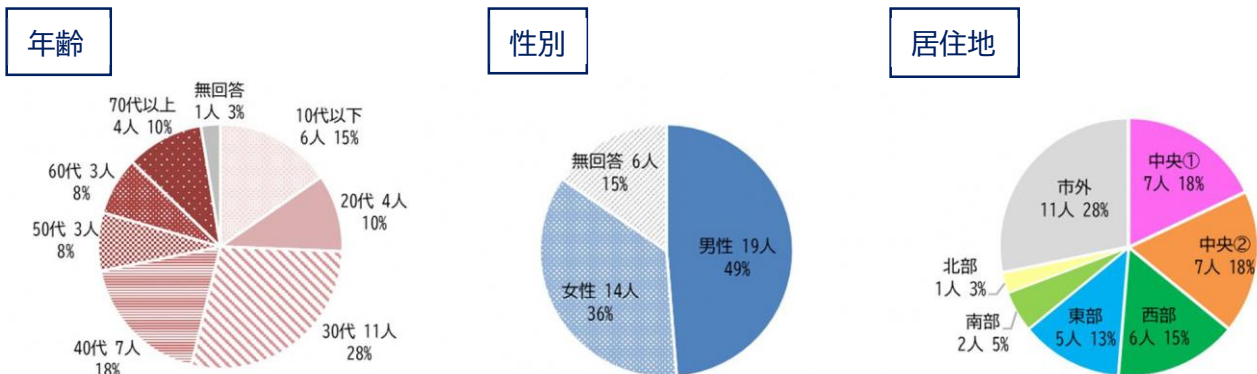


写真 子ども対象アンケートで
頂いたご意見

■ 一般参加者対象アンケート調査結果(対象:中学生以上の参加者)

問 1 年齢、性別、お住まいについて(n=39)

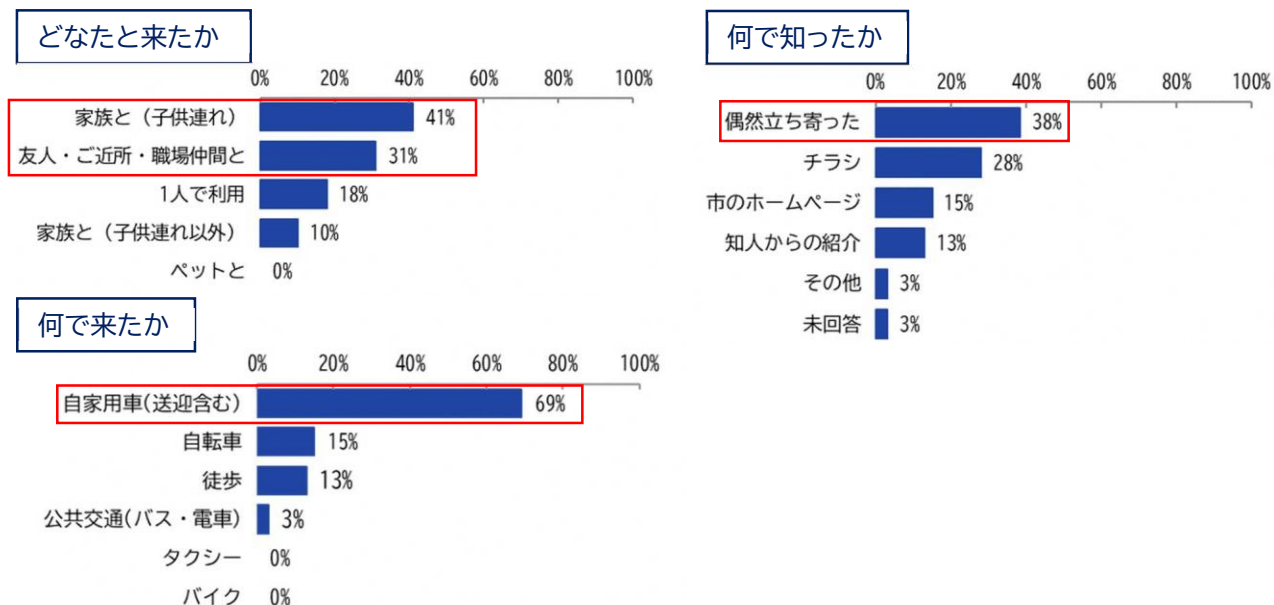
- 年齢は 30～40 代、性別は男性が半数程度を占めている。居住地に関しては熊谷市内の中央エリアを中心に、市内外の方にご回答いただいた。



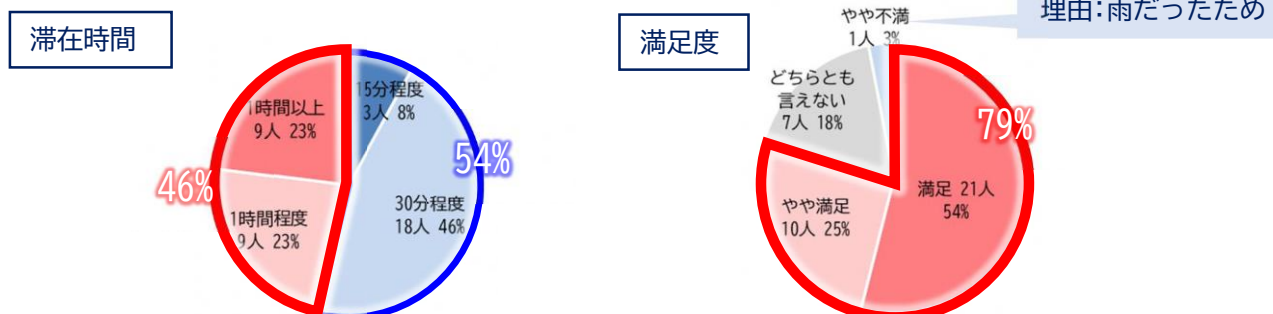
※エリア区分は別紙参照

問 2 「熊谷市荒川かわまちづくり社会実験」について(n=39)

- 子ども連れの家族でいらっしゃった方が 4 割、友人・ご近所・職場仲間といらっしゃった方が 3 割を占めている。
- 偶然立ち寄ってくださった方が 4 割を占めているため、今後の社会実験では事前のチラシや市ホームページでの宣伝方法を強化すると、より集客が見込めると考えられる。
- 自家用車でいらっしゃった方が 7 割を占めており、今後の社会実験では駐車場の駐車台数や会場へのアクセスを検討する必要がある。



- 会場の滞在時間は 1 時間未満と 1 時間以上がそれぞれ約半数となった。
- 約 8 割の方が社会実験イベントを満足と回答した。

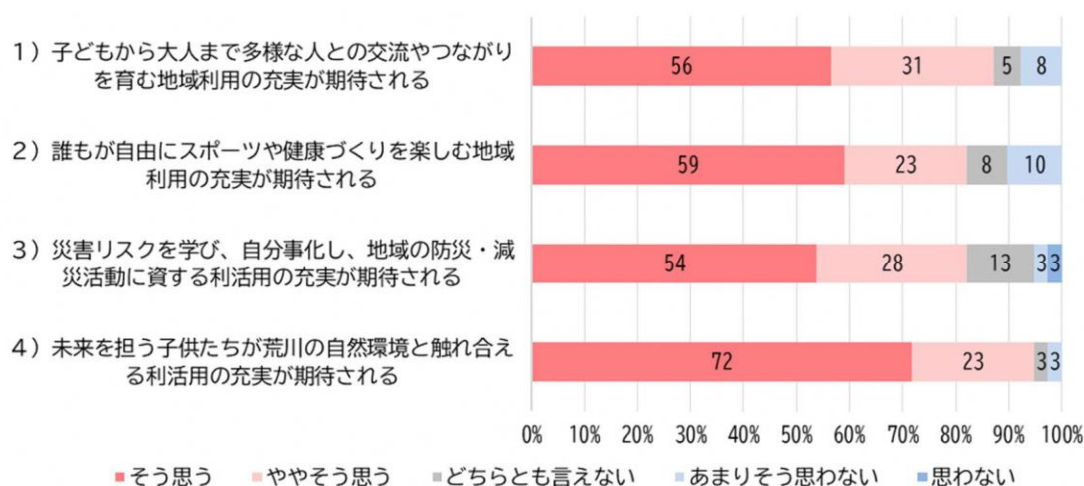


- 8割以上の方が水辺の生物コーナーを、半数以上が手ぶらできても遊べるコーナー、手ぶらでもピクニックコーナー(休憩)を利用しており、それぞれ利用者の約半数が良かったメニューとして選んでいる。

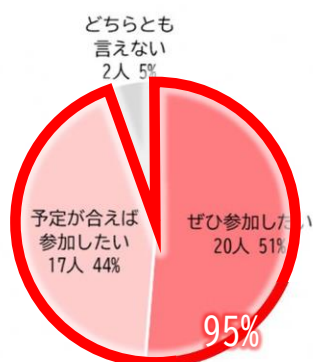
利用メニューと良かった点・改善点

メニュー名	利用したメニュー (複数選択可)	良かったメニュー (1つ選択)	要改善メニュー (1つ選択)
手ぶらできても遊べるコーナー	56%	24%	3%
手ぶらでもピクニックコーナー(休憩)	64%	23%	3%
手ぶらでもピクニックコーナー(防災)	21%	3%	8%
水辺の生き物コーナー	85%	46%	3%
ラグビーボールに触れてみようコーナー	8%	0%	5%
その他・回答なし	5%	5%	80%

- 社会実験メニューによって、①交流やつながりを育む地域利用の充実、②スポーツや健康づくりを楽しむ地域利用の充実、③地域の防災・減災活動に資する利活用の充実、④子供たちが荒川の自然環境と触れ合える利活用の充実 への効果が期待されると8割以上の方が考えており、社会実験実施へ期待されていることがわかる。特に④子供たちが荒川の自然環境と触れ合える利活用の充実 への期待が最も多く9割を超えている。



社会実験への参加意向



今後取り組んでほしいメニュー(n=21)

メニュー案	意見数
BBQ	5
スポーツ(鬼ごっこ、サッカー、ドッジボール)	5
川遊び	4
釣り・魚とり	3
イベント(お笑いなど)	2
自然観察(触れる)・散策	2
キッチンカー	1
川の防災教室	1
体験	1
乗り物	1
ボルダリング	1
キャンプファイヤー	1
サウナ	1
その他	1

問 3 その他、社会実験イベントや、かわまちづくりへのご意見やご提案(n=22)

- 社会実験イベントの感想や今後の課題、かわまちづくり計画へのご意見を頂きました。

分類	ご意見		意見数
社会実験	感想	・楽しかった	1
		・あいにくの雨で残念	2
	意見収集	・インターネットや市報やポスティングなどを使って広く意見を集めたい	1
	場所	・川辺での社会実験を体験したい	2
		・せっかく川があるのだから川をもっと活かせると良い	
	アンケート	・アンケートもQRコードなどでできるとよい	1
	開催頻度	・定期的にこのようなイベントを開催してください	1
かわまちづくり計画	メニュー	・もっと食もあると助かります	1
	全体	・頑張ってください	1
		・立派なものを期待	2
		・期待しかありません	
	スポーツ利用	・鬼ごっこ、ドッジボール、サッカー	4
	水辺利用	・子供が自然と川で遊べたらと思う	2
		・危険もあるが、自然と共に遊べる場としての” 川” を周知してほしい	
	賑わい	・きれいに整備されれば人がたくさんあつまる場所になると思う ・小さい子ども向けイベントがあってほしい	2
	整備メニュー	・サウナやシャワーがあると嬉しい ・定期的に除草をしてほしい ・ドローンの実習 ・水辺に行ける道	4

子ども対象アンケート調査(対象:小学生以下の参加者)

みずべ利用チャレンジアンケート（複数回答 意見数合計：24）		
てぶらでもあそべるコーナー (意見数：10)	モルックが楽しかった！	3、4年生
	ふうせんバレーがたのしかった（羽生）	3、4年生
	ゆうぐがたのしかったです！	小学生未満
	モルックが楽しかったです	5、6年生
	大人とやったかるたがたのしかった	3、4年生
	ゆうぐがたのしかった	小学生未満
	ゆうぐがたのしかった！	3、4年生
	モルックをいっぱいおせてうれしかったです。	1、2年生
	モルックが楽しかったです！	5、6年生
	ゆうぐがたのしかった	1、2年生
てぶらでもピクニックコーナー (意見数：1)	ハンモックが楽しかった。	3、4年生
みずべのいきものコーナー (意見数：7)	さかなをはじめてさわったのでたのしかったです	1、2年生
	さかなをさわられてうれしかったです。	1、2年生
	思ったよりたくさん種類がいて楽しかった。	5、6年生
	はじめてさかなおさわってできたしたのしかったよ。	1、2年生
	おさかなにさわられてたのしかった	小学生未満
	おさかながたのしかった	小学生未満
	おさかなをさわられてたのしかったです。	小学生未満
ラグビーボールにふれてみようコーナー (意見数：5)	タグラグビーが楽しかったです。	5、6年生
	タグラグビーがたのしかったです。	5、6年生
	タグラグビーがみんなとできて楽しかったです。	5、6年生
	タグラグビーでみんなと協力できてたのしかったです！	5、6年生
	タグラグビーがかってうれしかったし、楽しかったです。	5、6年生

かわまちづくりへのみんなの意見（複数回答 意見数合計：18）		
宝探し	宝さがしをしたい！！	3、4年生
	宝さがしがやりたい（羽生）	3、4年生
	友だちといっしょにたからさがしをしたいと思います。	1、2年生
かくれんぼ	かくれんぼができるばしょがほしい	1、2年生
みんなで遊べる	みんなであそべるばしょ。	1、2年生
お祭りができる場所	お祭りができるばしょになってほしい	5、6年生
	お祭りできる場所になってほしい	5、6年生
	お祭りができる場所になってほしい！	5、6年生
	お祭りができる場所になったらいいな。	5、6年生
	お祭りができる場所になってほしい	5、6年生
	お祭りができる場所になったらいいな！	5、6年生
	お祭りができてみんなが交流できる場所になってほしいな！	5、6年生
友達とアスレチック	おともだちとおきいあすれちっくがしたい。	1、2年生
友達とサッカー	友達とサッカーをしたい。	3、4年生
川遊び・水遊び	川遊びをすることがほしい！！	3、4年生
	お水遊びがしたいです。	小学生未満
動物園	どうぶつえんがほしい！	3、4年生
生き物の展示ができる	自分でつかまえた生き物をてん示できる場所になってほしい	5、6年生

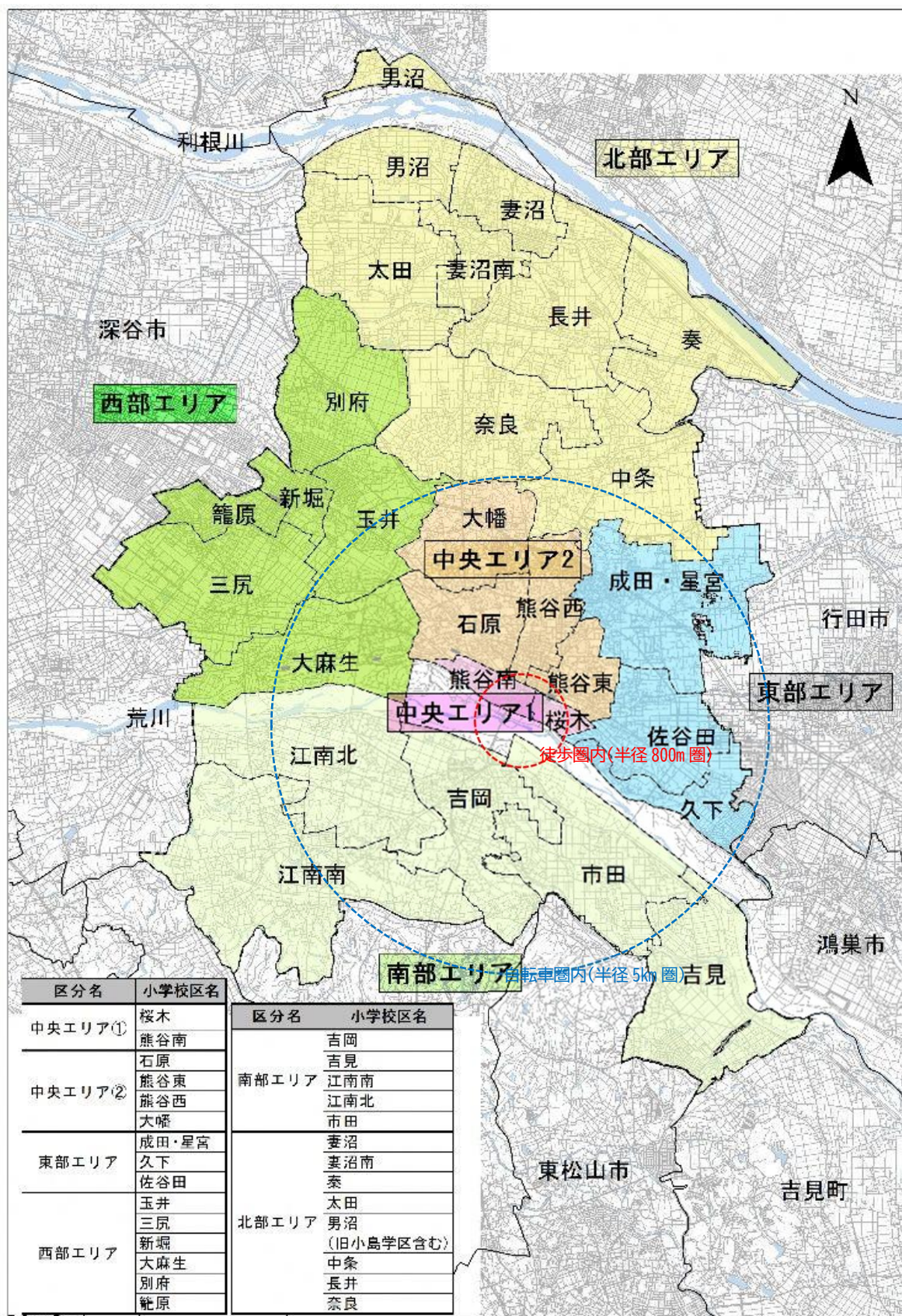
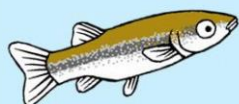


図 熊谷市エリア区分図

2024 熊谷市荒川かわまちづくり社会実験

あら かわ し ぜん かん さ つ か い

荒川自然観察会



10/26(土)

午前の部：10:00～12:00（9:30受付開始）

午後の部：13:00～15:00（12:30受付開始）

※雨天の場合は中止となります。



みずべ 水辺の生きものをつかまえて水質調査をします。
せいぶつたようせい せいぶつたようせい

「生物多様性」について学びましょう

おとなの人と一緒に来てね。

応募締切:10/24(木)

～持ち物～

- ・マリンシューズ、履き古したくつ、かかとをついたサンダルなど
- ・水筒、ぼうし
- ・タオル、着がえ(必要な人のみ)
- ・観察フラケースや「たもあみ」は貸し出します。
(自分のフラケースやたもあみを持てきたい人はどうぞ)



～保護者の皆様へ～

- 当日は保護者同伴（児童3名につき最低1名）でご参加いただきますようお願い申し上げます。
- 会場内外での手荷物の管理やケガについては自己責任にてお願い致します（参加される児童の皆様には当日傷害保険に加入いただきます（保険料は事務局負担））。
- ゴミは各自でお持ち帰りください。
- 気象状況によりイベント内容は変更になる場合があります。
- 川に入る人数は安全上、定員数を設けていますので、参加ご希望の時間帯を調整させていただく場合がございます。
- 会場ではスタッフが写真の撮影を行います。これらの撮影物は熊谷市のHPやチラシ等に使用・掲載させていただく場合がございますので、予めご了承ください。
- 河川敷地内は駐車スペースが限られています。徒歩や自転車でのご来場にご協力をお願いいたします。

主 催：熊谷市建設部河川課（担当：瓜田、溝口） 問合せ先：048-524-1490

事務局：いであ株式会社（担当：土田、楯） 問合せ先：r6kumakawa@ideacon.co.jp

荒川自然観察会参加申し込み

■ 申し込み方法：下記の①②いずれかの方法で申し込みください。

- ① 右のQRコードより申し込みフォームへアクセスしお申込みください。
- ② 必要事項をご記入の上、r6kumakawa@ideacon.co.jp へメールをお送りください。



- 必要事項：① 児童氏名（漢字、ふりがな） ② 児童の学年（年生） ③ 児童身長（cm） ④ 保護者氏名
⑤ 保護者の当日参加（参加 or 代理（代理者氏名）） ⑥ 参加希望時間帯（午前の部 or 午後の部）
⑦ 緊急時連絡先電話番号 ⑧ メールアドレス

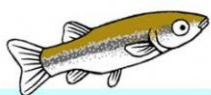
※頂いた個人情報は当イベントの開催にあたっての名簿整理や必要事項の連絡以外には使用しません。

※保護者の当日参加・代理及び参加希望時間帯はいずれかをご記入ください。

※身長はライフジャケットのサイズ適合のために必要な情報です。

※r6kumakawa@ideacon.co.jpからのEメールを受信できるよう迷惑メール設定やメールソフトを設定して下さい。

※雨天により中止する場合等はメールにてご連絡いたします。



荒川自然観察会 報告



| 日 時：10月26日(土) 13時～15時 | 会 場：熊谷荒川緑地 河川敷
| 内 容：自然観察会 | 参加人数：小学生6人、保護者7人、その他(見学)7人

荒川自然観察会

おどろき
水辺の生きものをつかまえて水質調査をします。
せいふつたようせい
「生物多様性」について学びましょう
おどろき
おどろきの人と一緒に来てね。



実施概要：荒川の水辺の新たな利活用の試みとして、熊谷市と桜木小学校がコラボし、荒川の豊かな自然環境を体感し学ぶことを目的とする自然観察会を開催しました。

荒川大橋上流の浅瀬やワンドを活用し、事前に応募頂いた親子(児童・保護者)を対象に、専門家による詳しい生き物解説のもと、水辺の生き物探しや、生き物を用いた水質調査などを体験して頂きました。

また、子どもたちの安全な利用のため、楽しみながら学ぶ川の安全教室や、水辺への安全なアクセス路の試行を行いました。

学習メニュー

1. 楽しみながら学ぶ川の安全教室
2. 荒川に棲む生き物探し体験&専門家による生き物解説
3. 生き物による水質調査
4. パックテストを用いた水質検査
5. アンケート



例.コオニヤンマ
ヤゴ(トンボの幼虫)
ややきれいな水を好む生き物



★浅瀬



★ワンド



荒川に住む生き物探し体験

網を使って、浅瀬とワンドの2箇所で生き物を探しを行いました。水生昆虫や底生生物、魚の稚魚を見つけました。

専門家による生き物解説

生き物の名前や好む環境を確認しました。

荒川の水質は
「ややきれい」
でした！



CODは4～6mg/L
でした。



生き物を用いた水質調査
川がどれくらいきれいかわかる
生き物の種類と数で川がどれく
らいきれいかわかる判定しました。

パックテストを用いた水質検査
生き物を用いた水質調査の結果と
パックテストを用いた水質検査の
結果を比べてみました。

アンケート(参加した感想(一部のご紹介))

【参加児童】参加児童全員から「楽しかった」の感想を頂きました！

- ・さかなをつかまえたから。／いろんないきものがいたから。
- ・たくさん魚や水の虫がとれたから。
- ・いきものにあえてよかった。もういちどきたい。

【参加保護者】「良かった点」のご意見をたくさん頂きました！

- ・いろんな場所でいきものを探せて良い経験になりました。
- ・安全対策が万全でありがたかった。川や生き物のことをたくさん教えて頂いて勉強になりました。どれも楽しかったです。
- ・川に住んでいるいきものによって水のきれいさがわかることが勉強になりました。

もんだい 1
川で遊ぶ時に忘れていけないものは？
A ライフジャケット B うんこ
活用教材：国土交通省・河川財団×うんこドリル



楽しみながら学ぶ川の安全教室



ワンドに住む魚の確認&投網体験

荒川自然観察会 アンケート結果

熊谷市役所 建設部河川課

熊谷市では荒川緑地および周辺の水辺空間を対象とする「熊谷市荒川かわまちづくり計画」の策定に向け社会実験を10月6日に実施した。そのうち、雨天のため延期となった荒川自然観察会を実施した。荒川自然観察会実施と合わせ、地域意見の確認のため、参加者した児童と保護者へのアンケート調査を行った。

■ 熊谷市荒川かわまちづくり社会実験 荒川自然観察会

■ 会場 荒川緑地 河川敷

■ 日時 2024年10月26日(土) 13:00~15:00

■ アンケート調査概要

①子ども向けアンケート調査(対象:小学生)

調査方法:アンケート用紙への記入

回答数 :6人

調査項目:自然観察会の感想、かわまちづくり計画へのご意見

②保護者向けアンケート調査(対象:保護者、見学者)

調査方法:アンケート用紙への記入

回答数 :8人(保護者6人+見学者2人)

調査項目:自然観察会の感想、かわまちづくり計画へのご意見

■ 子ども向けアンケート調査結果

問1 学年、性別について (n=6)

- 1年生と3年生の子ども6人に参加いただいた。
- 男子生徒が5人、女子生徒が1人であった。

学年 (n=6)



性別 (n=6)

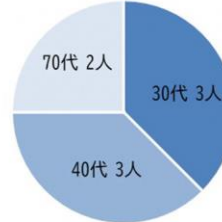


■ 保護者・見学者向けアンケート調査結果

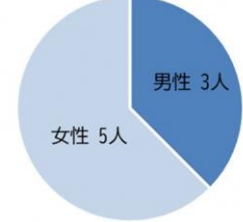
問A 年齢、性別、アクセス方法について (N=8)

- 30~40代の保護者と70代の見学者2人に参加いただいた。
- 会場へのアクセス方法は「車」が半数を占めていた。

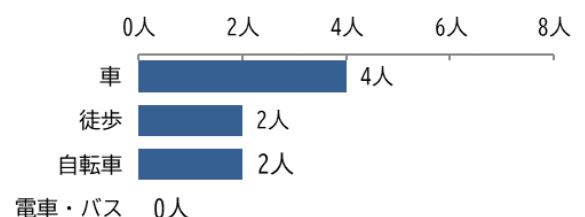
年齢 (N=8)



性別 (N=8)



アクセス方法 (N=8)

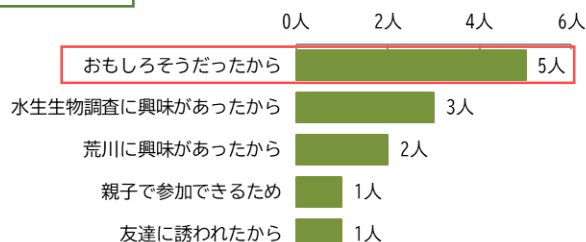


■ 子ども向けアンケート調査結果

問 2 観察会を知ったきっかけ、参加理由 (n=6)

- 「おもしろそうだったから」を理由に参加した子どもが多くいた。

参加理由 (n=6) ※複数回答可



問 3 荒川での生物探しや観察の経験 (n=6)

- 水辺でいきもの観察をしたことがある子どもが 4 人、初めての子どもが 2 人であった。



問 4 参加した感想 (n=6)

- 6 人全員が「楽しかった」と回答した。



楽しかった理由

- ・ さかなをつかまえたから
- ・ いろいろないきものがいたから
- ・ さかなをたくさんつかまえられるから
- ・ たくさん魚や水の虫がとれたから
- ・ いろいろな魚がいたから
- ・ いきものにあえてよかった。もういちどきたい。

▼投網



▼採取した魚

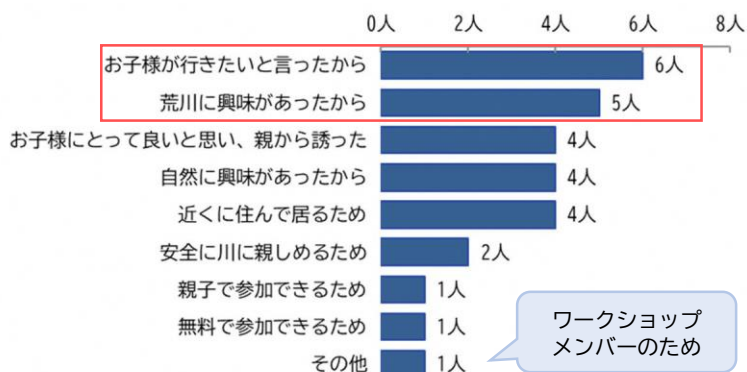


■ 保護者・見学者向けアンケート調査結果

問 B 観察会を知ったきっかけ、参加理由 (N=8)

- 「お子様が行きたいと言ったから」、「荒川に興味があったから」を理由に参加した人が多くいた。

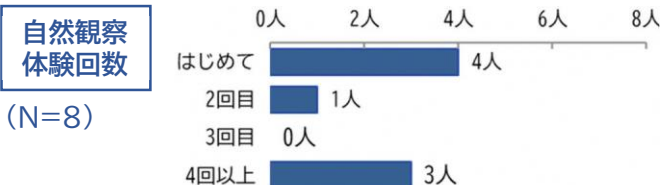
参加理由 (N=8) ※複数回答可



ワークショップ
メンバーのため

問 C 荒川での生物探しや観察の経験 (N=8)

- 水辺でいきもの観察をしたことがある人が 4 人、初めての方が 4 人であった。



問 D 観察会の良かった点、改善点 (N=8)

- 「勉強になった」、「運営が手厚くて良かった」というご意見をいただいた。
- 「宣伝方法の改善」や「集合場所の改善」が必要というご意見をいただいた。

良かった点

【開催内容の良かった点】

- ・ 色んな場所で生き物を探せて、良い経験ができました。
- ・ 川や生き物のことをたくさん教えていただけて勉強になった。
- ・ どれも楽しかった。投網は初めてみた。
- ・ 初めて見る生き物や投網
- ・ 身近だけど普段入れないところに入れた。魚を取ったり、子供が楽しんでいた。
- ・ 川の住んでいる生き物によって水のきれいさが分かることが勉強になりました。水質検査は一過性のものであることも理解できた。
- ・ 魚などが色々というのがわかった。

【運営の良かった点】

- ・ 小人数に対して運営の方が多く、安心して川に入れた。
- ・ 何を質問しても答えて頂けた。手厚く講義して頂けた。大変興味深かった。
- ・ スタッフさんがたくさんいて安全対策が万全でありがたかった。
- ・ 安全に配慮していただいて安心して子の様子を見守れた。
- ・ スタッフの方が丁寧に子供に接して下さって良かった。子供用と大人用に分けてアンケートを用意してあって良かった。
- ・ 子供が喜んでおり安全に配慮していただいたのでとても良かった。

■ 子ども向けアンケート調査結果

▼浅瀬での採取

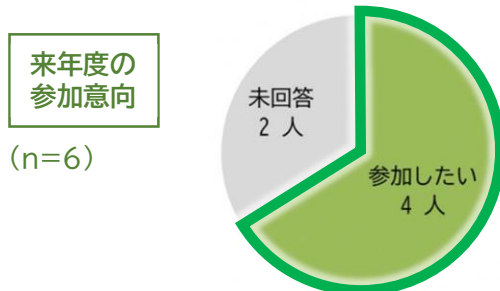


▼ワンドでの採取



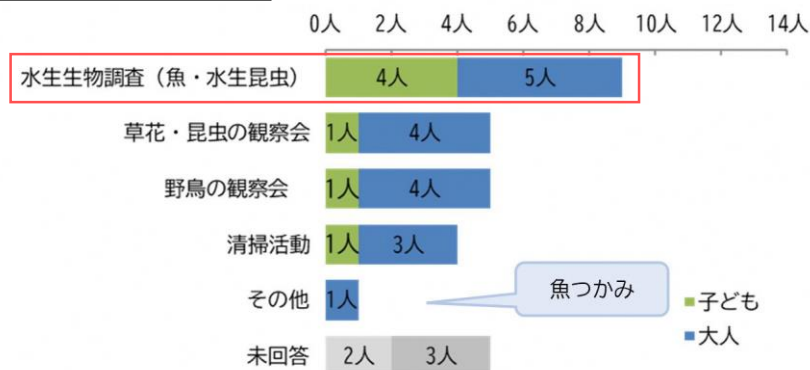
問5 今後の参加意向、実施内容(n=6)

- 未回答者を除いた4人全員が「**来年度も参加したい**」と回答した。
- 未回答者を除いた4人全員が「水生生物調査」と回答した。



来年度以降の実施内容

(n=6)(N=8) ※複数回答可



問6 今まで荒川で遊んだ(利用した)経験 (n=6)

- 荒川で遊んだことがある子供は3人だった。
- 遊んだことのある子どもの利用頻度は「1か月に1~2回」、「年に数回」であった。遊びの内容は「水遊び」、「虫取り」、「スポーツ」など複数の項目であった。
- 荒川を利用しない人は「目的が無い」、「荒川は「汚いと思った」、「家が遠いから」と回答した。

■ 保護者・見学者向けアンケート調査結果

改善点

[宣伝方法の改善]

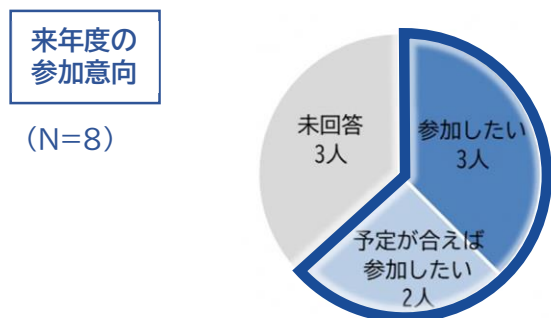
- ・宣伝がたりなかった。とても良い企画なのにもったいない。
- ・楽しいイベントなのでもっとたくさんの子供が参加できたらいいと思う。

[集合場所の改善]

- ・集合場所がわかりづらかった。

問E 今後の参加意向、実施内容 (N=8)

- 未回答者を除いた5人全員が**来年度の参加意向を示した**。
- 「水生生物調査」、「草花・昆虫の観察会」、「野鳥の観察会」など、生物や自然に触れあえる体験が多く選ばれた。



問F 今まで荒川で遊んだ(利用した)経験 (N=8)

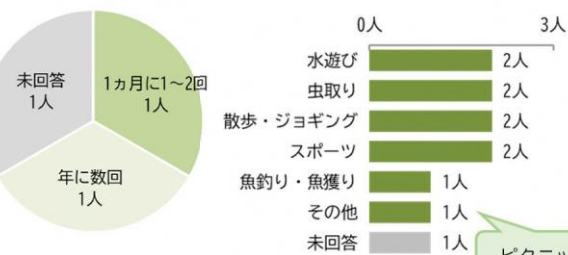
- 荒川を利用したことがある人は4人だった。
- 利用したことがある人の利用頻度は「1週間に1~2回」、「1か月に1~2回」、「年に数回」であった。利用内容は「散歩・ジョギング」、「スポーツ」、「虫取り」であった。
- 荒川を利用しない人は「遊ぶ場所がない」と回答した。

■ 子ども向けアンケート調査結果

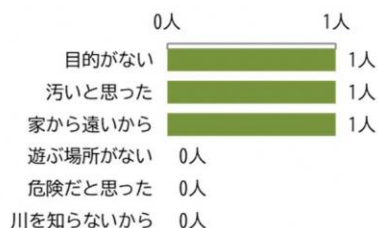
荒川で遊んだ
(利用した)経験
(n=6)



遊んだ(利用した)頻度と内容※ (n=3) ※複数回答可



遊ばない(利用しない)理由 (n=1) ※複数回答可

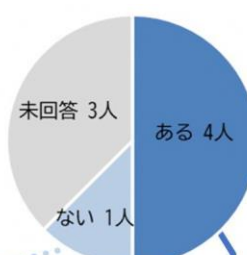


問7 荒川をどんな川にしたいか (n=6)

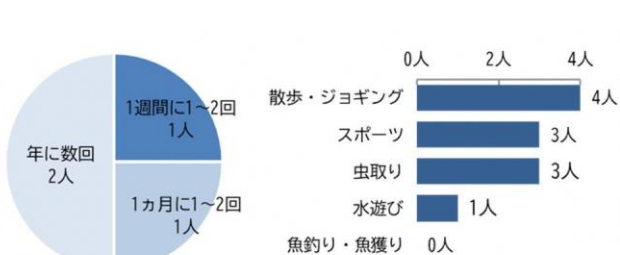
- 「水辺で散歩やサイクリング、スポーツができる川」、「魚釣りや水遊びができる川」、「魚や虫がたくさん見られる川」と答えた子どもが比較的多かった。
- 「今のままでよい」と感じている人はいなかった。

■ 保護者・見学者向けアンケート調査結果

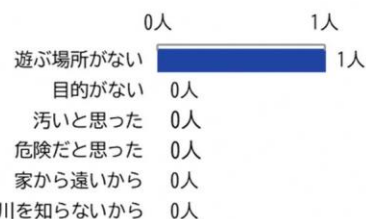
荒川で遊んだ
(利用した)経験
(N=8)



遊んだ(利用した)頻度と内容※ (N=4) ※複数回答可



遊ばない(利用しない)理由 (n=1) ※複数回答可

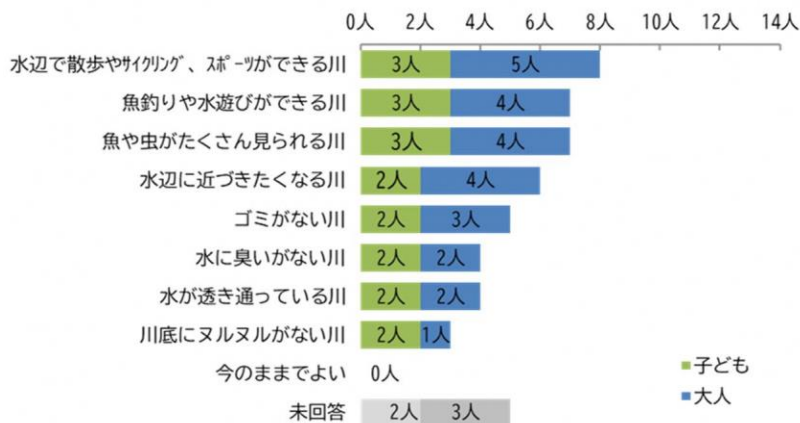


問 G 荒川をどんな川にしたいか (N=8)

- 「水辺で散歩やサイクリング、スポーツができる川」、「魚釣りや水遊びができる川」、「魚や虫がたくさん見られる川」と答えた人が比較的多かった。
- 「今のままでよい」と感じている人はいなかった。

荒川の目指す姿

(n=6) (N=8) ※複数回答可



熊谷市荒川かわまちづくり 計画書(案)

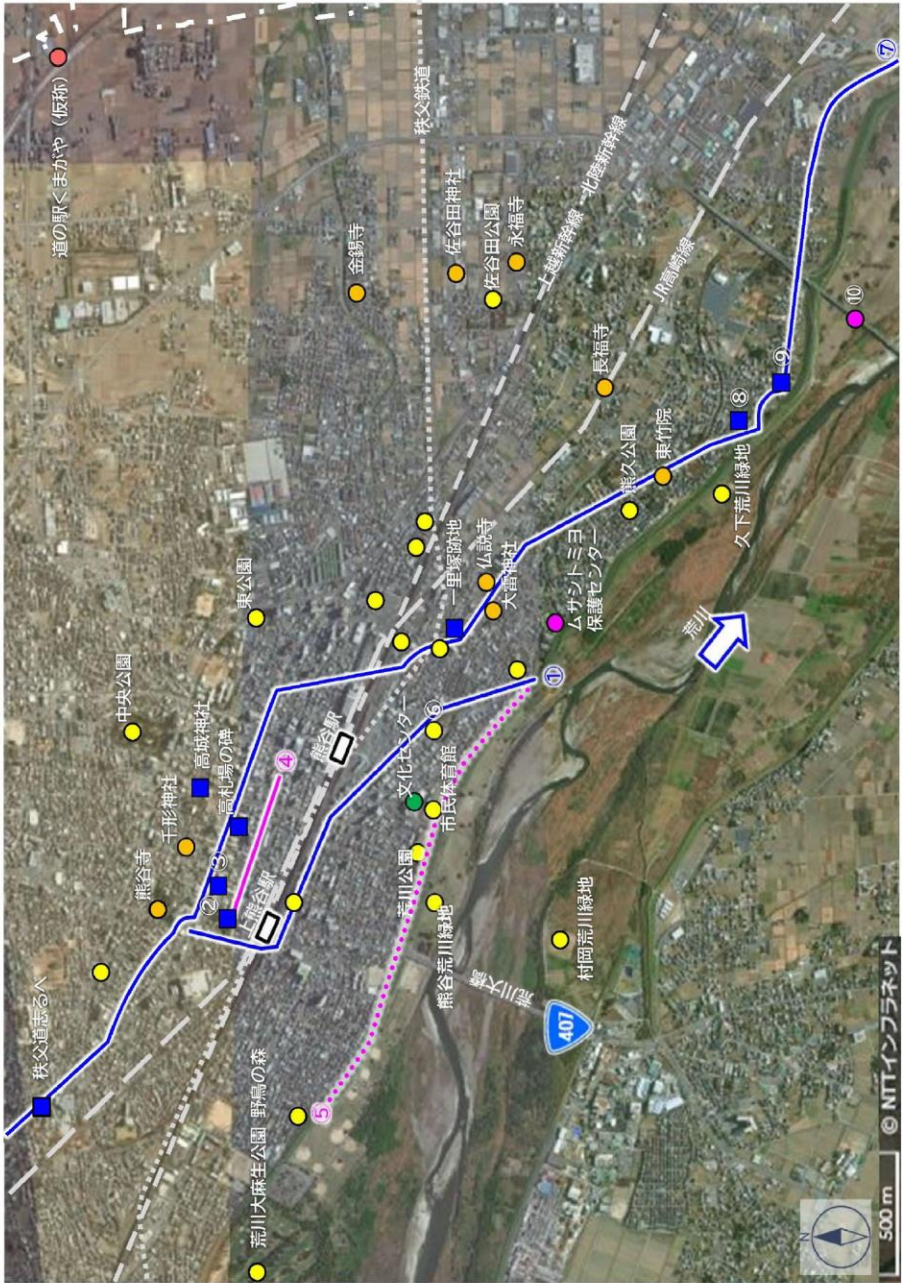
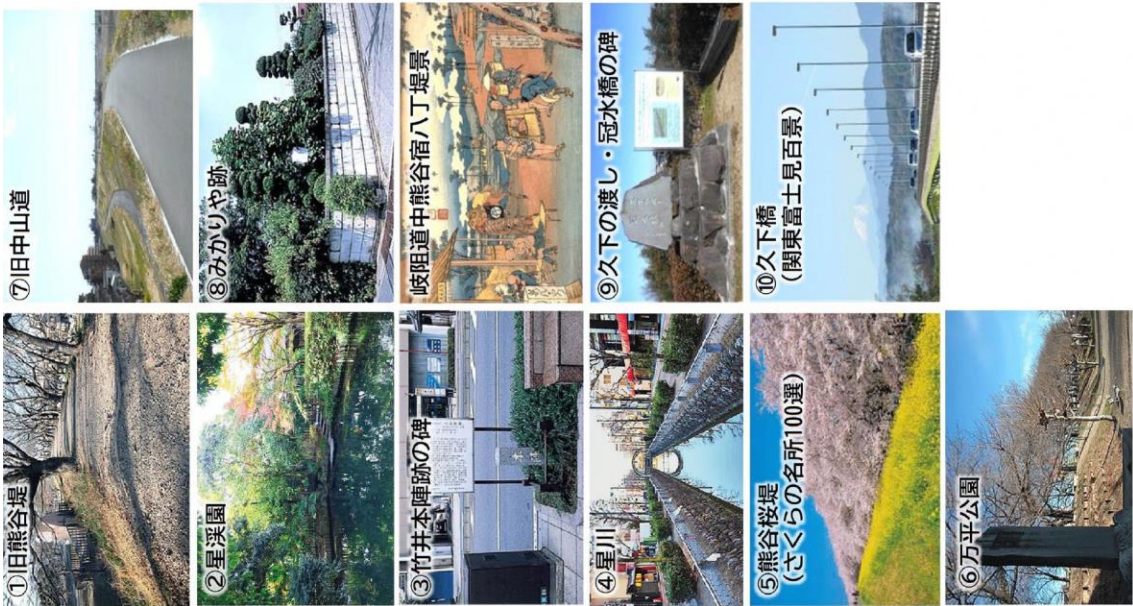
熊谷市

令和6年11月25日時点版

<様式2>

市町村及び河川の概要

1.市町村等の概要		
① 都道府県名	埼玉 県	
② 市町村名	熊谷 市	
③ 人口	191244 人	(令和6年10月1日時点)
④ 面積	160 km ²	
2.河川の概要		
① 熊谷市及び周辺地域の魅力の整理		
熊谷市及び周辺地域の魅力に精通した地元意見等を把握し、当該エリアならではのローカルな魅力や広域連携・周遊の魅力を発掘し、かわまちづくり計画に反映します。		
表1 地域の魅力の抽出の視点		
視点(案)	地域の魅力	
熊谷市	交通利便性	・新幹線が利用でき、東京駅まで39分、また、東北道や関越道等のICまで30分以内と、交通アクセスが良く、ショッピング施設も充実している便利な街である。
	歴史・文化	中山道、熊谷宿、龍泉寺、戦災復興、絹産業、米と麦の二毛作
	食	・地下水が豊富で水道水のおいしさが有名 ・加えてそのおいしい水を使ったかき氷「雪くま」は、市内外の来訪客の魅力の一つになっている。 ・さらに、食材の宝庫でもあり、新鮮で栄養たっぷりの野菜や米、麦などが安く手に入る。 ・郷土食(熊谷うどん、すいとん)、雪くま(暑さ対策)
	自然環境・景観	・利根川や荒川などの水辺に囲まれた自然豊かな環境を有している。 ・荒川の水辺と緑、オープンスペース、花の名所(熊谷桜堤)
	観光施設	スポーツ・文化・健康拠点・観光交流拠点：熊谷スポーツ文化公園(ラグビー場・陸上競技場)、熊谷市スポーツ文化村「くまピア」、熊谷さくら運動公園、武蔵丘陵森林公園、上記を周遊するスポーツ・文化・健康の連携軸(自転車道等)、妻沼聖天山、星溪園、仮称)北部地域振興交流拠点 自然資源：荒川大麻生公園野鳥の森
	スポーツ	・ラグビーワールドカップ2019開催都市として「ラグビータウン熊谷」を世界に発信し、大会後も、熊谷ラグビー場では、日本代表戦やトップリーグの試合が数多く予定されており、スポーツを实践・観戦しやすい環境が整っている。 ・ラグビー、スカイスports、サイクリング(荒川)
地域の活動・イベント	・1年を通してたくさんのイベントや祭りが行われている。 観光・商業振興：熊谷さくら祭り(3月)、熊谷花火大会(8月)、うちわ祭り(7月伝統行事)、えびす大商業祭り(11月) 地域イベント(星川夜市(月1回)) スポーツ：熊谷さくらマラソン大会(3月) 子育て支援・福祉：くまSUNフェスタ(11月子育て支援イベント) 歴史・文化・戦災伝承：熊谷初市・星川だるま市(1月熊谷宿)、星川とうろう流し(8月 戦災伝承) かわの清掃活動：リバークリーン活動等	図
周辺地域	・埼玉県北部地域地方創生推進協議会 ・荒川を軸とする上下流の広域連携(サイクリングロード、水上スポーツ) ・利根川自転車道との連携 ・他自治体の荒川のかわまちづくり(北本高尾地区かわまちづくり) ・中山道を軸とする連携(深谷宿) ・隣接市、県との広域連携(群馬県、東京都、県内他市)	
② 市民や民間事業者による河川利活用状況及び周辺の観光資源		
現状の河川利活用状況及び周辺の観光資源は次頁の通りである。		



- 凡例
- 主要公園・スポーツ施設
 - 文化施設
 - 観光施設
 - 道の駅
 - 神社・寺
 - 歴史資源
 - 歴史資源 (旧中山道・熊谷宿)

図1 河川の利活用状況及び周辺の観光資源(1/2)

①熊谷さくら祭

時期：4月
場所：荒川堤(中心市街地周辺)
概要：日本さくら名所百選に選ばれた熊谷の桜は、「名勝 熊谷桜堤」として、人々に親しまれており、開花時期には、近隣から14万人もの人々が集う春の大イベントとなる。
さくら祭開催時期には、多くの見物客が中心市街地に訪れ、中心市街地も活気にあふれている。

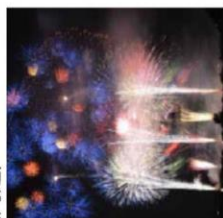


②熊谷うちわ祭・熊谷えびず大商業祭

時期：7月
場所：中心市街地内
概要：延べ75万人の集客を誇るのが、7月20日から3日間行われる八坂神社例大祭のうちわ祭。12台の山車・屋台が熊谷囃子とともに市街地を巡行する様子は、その絢爛豪華さから関東一の祇園祭と称されている。
クライマックスである3日目の夜には、あちらこちらの街角で引き合わせ叩き合いが繰り広げられながら、山車と屋台がお祭広場に集結する。ライトアップされた山車・屋台、数万人の人の波、夜空に響きわたるお囃子と歓声が、訪れた人の誰をも熱く燃えさせる。

③熊谷花火大会

時期：8月
場所：荒川河畔(中心市街地周辺)
概要：毎年8月の第2土曜日に、10,000発ものスターマイン等の花火を打ち上げる。約40万人が訪れ、関東一の花火大会との定評がある。
花火大会当日には、多くの見物客が中心市街地に訪れ、中心市街地も活気にあふれている。



時期：11月
場所：中心市街地内
概要：商店主が中心となり、商売繁盛を願ってえびす大黒の木像を先頭にした稚児行列や民謡流しなどが行われ、約20万人の出入がある。



④とらう流し・⑤星川夜市

時期：8月
場所：星川
概要：昭和20年8月14日深夜、熊谷に米軍による太平洋戦争最後の空襲が行われ、市街地の3分の2が焼き尽くされ、266名が亡くなり、特に星川付近の被害は甚大で、悲惨の極みであった。戦後の昭和25年より、犠牲になった人々の霊を慰めるために、とらう流しが始まった。毎年約5千人の出入がある。



⑥星川だるま市

時期：2月
場所：星川通り
概要：毎年2月7日に星川の流れを背にして、だるま店が並び、起源は江戸時代に熊谷宿の繁栄を願って始められたといわれており、毎年約5千人の出入がある。市内では星川のほか、三ヶ尻龍泉寺、東漸寺、聖天山、玉井神社などでも開かれている。



⑦熊谷さくらマラソン大会

時期：3月
場所：荒川堤(中心市街地周辺)
概要：熊谷さくらマラソン大会は、毎年3月下旬の日曜日に開催します。コースは熊谷さくら運動公園を発着とした市内特設コースを使用し、桜の開花と重なれば花見ランも楽しむことができます。全国から1万人近いランナーが集う本大会は、各部門1位から10位までの表彰(親子マラソンは除く)のほか、特別賞やお楽しみ抽選会、とん汁・コーンスープのサービスなども用意しております。



図2 河川の利活用状況及び周辺の観光資源(2/2)

3.かわまちづくりの方針

① 地域における課題、必要性

- ・ 熊谷らしさ(水辺やまちの魅力・歴史文化)の情報発信、まちへの愛着の醸成
- ・ 都市拠点の魅力・活力の充実による定住促進、多様な世代の交流人口・関係人口拡大
- ・ 荒川の豊かな自然環境の保全と継承
- ・ かわ・まち・駅空間の一体的な安全・安心まちづくり(ハード・ソフト)

② 市町村の地域計画や沿線地域のまちづくりの中での河川の位置づけ

- ・ 熊谷市都市計画マスタープラン(R4策定)

当該箇所： 111ページ9行目

掲載URL： https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/soshiki/toshi/toshikeikaku/kyokatodokede/master_plan.htm

③ 地域活性化や賑わいあるまちづくりに対する市町村や民間事業者の考え方

- ・ 市民アンケートの結果に合う内容で記載

④ 地域活性化や賑わいあるまちづくりに資する定量的目標

指標	従前値	目標値
防災活動	1回/年	2回/年
地域交流イベント開催回数	2回/年	3回/年
健康マイレージ事業参加者数	1,500人/年	1,800人/年
自然体験・学習、荒川清掃活動の参加人数	800人/年	1,000人/年

4.推進体制・取組内容

① 協議会、運営組織等の体制(図)

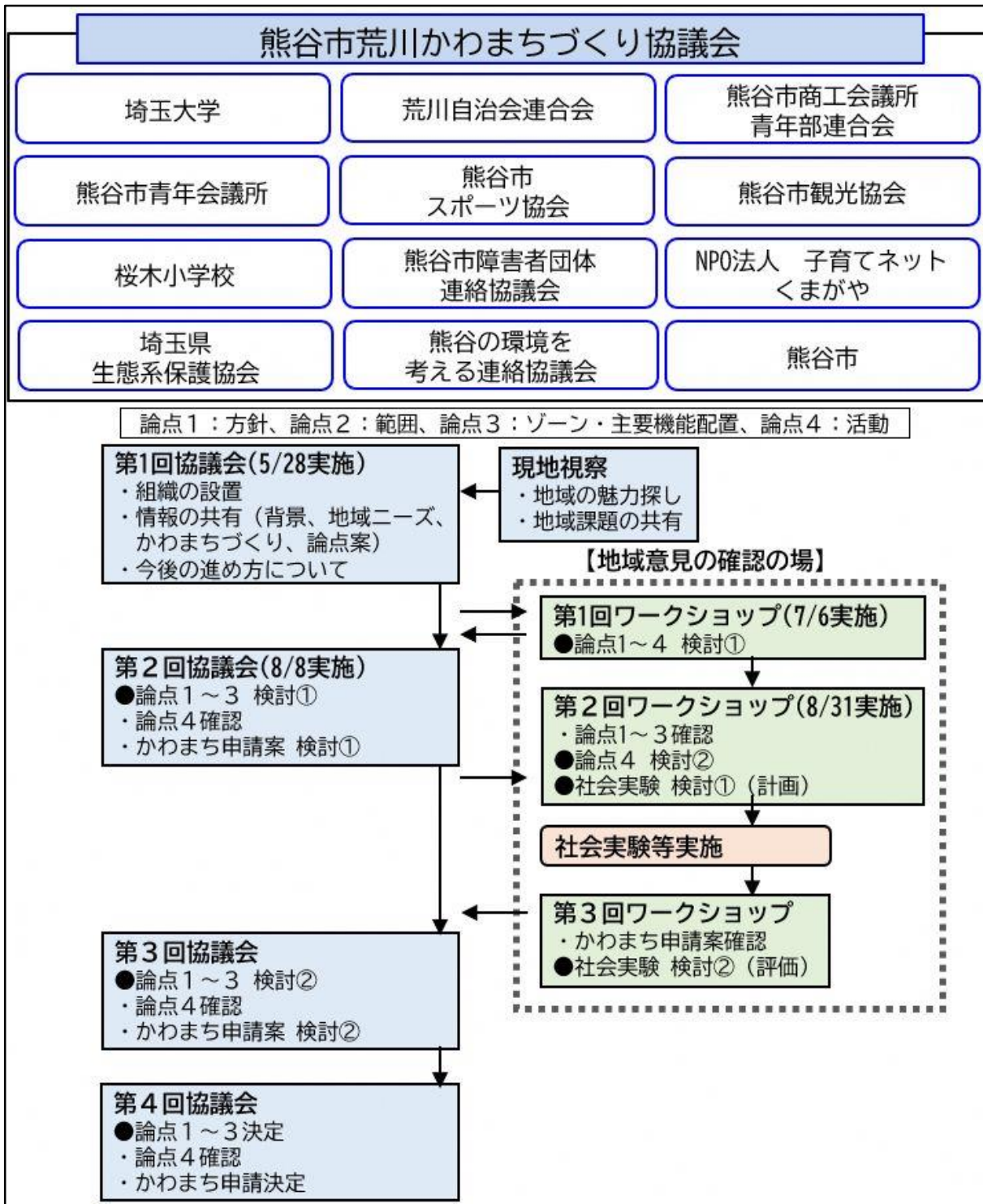


図3 協議会、運営組織等の体制図

② 地域活性化や賑わいあるまちづくりに資する多様な関係者との連携・取組内容(表)

表2 関係者との連携・調整の場となる組織と委員構成

名称	分野	団体名
熊谷市荒川かわまちづくり協議会 (委員数 12名)	学識経験者	埼玉大学大学院 理工学研究科 環境社会基盤専攻 (兼)社会変革研究センター レジリエント社会研究部門
	地区を代表する者	荒川自治会連合会
	商工産業	熊谷商工会議所、一般社団法人 熊谷青年会議所
	スポーツ振興	公益財団法人 熊谷市スポーツ協会
	観光振興	一般社団法人 熊谷市観光協会
	教育	熊谷市立桜木小学校
	福祉子育て	熊谷市障害者団体連絡協議会 NPO法人 子育てネットくまがや
	環境	公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 NPO法人 熊谷の環境を考える連絡協議会
	市職員	熊谷市建設部河川課

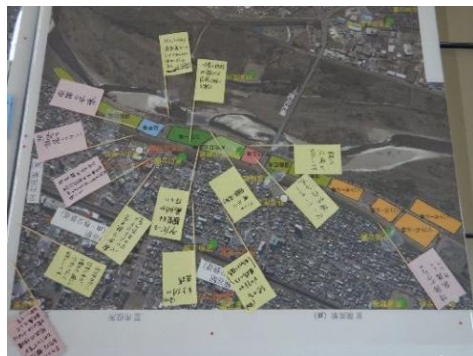
表3 協議会の開催経緯

協議会	日程	主な議題
第1回	令和6年5月28日	組織の設置、情報の共有、今後の進め方
第2回	令和6年8月8日	・論点1(方針)、論点2(範囲)、論点3(ゾーン・主要機能配置)の検討① ・論点4(活動)の確認 ・かわまち申請案の検討①
第3回	令和6年12月17日 (予定)	・論点1(方針)、論点2(範囲)、論点3(ゾーン・主要機能配置)の検討② ・論点4(活動)の確認 ・かわまち申請案の検討②
第4回	令和7年〇月〇日	・論点1(方針)、論点2(範囲)、論点3(ゾーン・主要機能配置)の決定 ・論点4(活動)の確認 ・かわまち申請案の決定



表4 ワークショップの開催経緯

ワークショップ	日程	主な議題	参加人数
第1回	令和6年7月6日	・論点1(方針)、論点2(範囲)、論点3(ゾーン・主要機能配置)、論点4(活動)の検討①	25人
第2回	令和6年8月31日	・論点1(方針)、論点2(範囲)、論点3(ゾーン・主要機能配置)の確認 ・論点4(活動)の検討② ・社会実験の検討①(計画)	25人
第3回	令和6年11月30日	かわまちづくり申請案の確認 ・社会実験の検討②(評価)	〇人



5 .安全な河川利用に向けた取組

- ・ 安全な河川利用に向けた取組については、引き続き協議会、河川管理者により詳細を協議して対応を決定します。

6 .都市・地域再生等利用区域の指定に関する取組

- ・ .都市・地域再生等利用区域の指定に関する取組については、引き続き協議会、河川管理者により詳細を協議して対応を決定します。

7 .生物の生息・生育・繁殖の場の保全・創出に関する取組

- ・ 生物の生息・生育・繁殖の場の保全・創出に関する取組については、引き続き協議会、河川管理者により詳細を協議して対応を決定します。

<様式3>

ソフト施策の個別施策計画書

1.河川名
① 荒川水系 荒川
2.提案事業の実施範囲
① 熊谷市(荒川左岸75.8k~76.5k)
3.提案事業の概要
熊谷市を占用許可者として、行政や地元関係者、有識者等から構成する「熊谷市荒川かわまちづくり協議会」により検討を実施しながら、民間事業者と連携して河川空間の活用を図っていきます。ソフト施策では、地域活性化や賑わい創出に資するように①地域の利用、②来訪者等の利用(イベント等)、③広域利用者の立寄・発着地としての活用の3つの視点から検討、展開していきます。 【地域の利用】 ① 地域の歴史の伝承と地域の憩いの場としての利用 ・ 地域の歴史の伝承の場としての利用(旧熊谷堤や中山道の歴史を活かした回遊ルートのご案内看板、フットサインの整備) ・ 過去の水害の歴史や、治水遺産を解説する案内看板の設置 ② 防災活動 ・ 地域の防災訓練・防災教育活動の支援 ・ 川の安全教室活動の支援 【来訪者等の利用(イベント等)】 ③ イベントの展開 ・ さくら祭、花火大会等の往来の行事の継続的实施 ・ 地域イベント・集客イベント開催支援 ・ SNS等を利用した地域の情報発信 ④ 屋外レクリエーション活動 ・ バーベキュー利用スペースの貸出 ・ 課外学習活動等での利用 ⑤ 親水利用 ・ 水辺へ近づき、釣り ・ 水辺利用(カヌー等) 【広域利用者の立寄・発着地としての活用】 ⑥ サイクリング利用(立ち寄り拠点化・まちなか「散走」への誘導) ・ サイクリング利用者の立ち寄り利用の促進(休息、飲食、メンテナンス) ・ 自転車を活用した市内の歴史地点や街道等を巡る「散走」への誘導 ⑦ 歴史をテーマとした散策利用(広域連携利用) ・ 旧熊谷堤や中山道をたどる広域歴史散歩・散走

<様式4>

ハード施策の個別整備計画書

1. 河川名

① 荒川水系 荒川

2. 整備範囲

① 熊谷市(荒川左岸75.8k~76.5k)

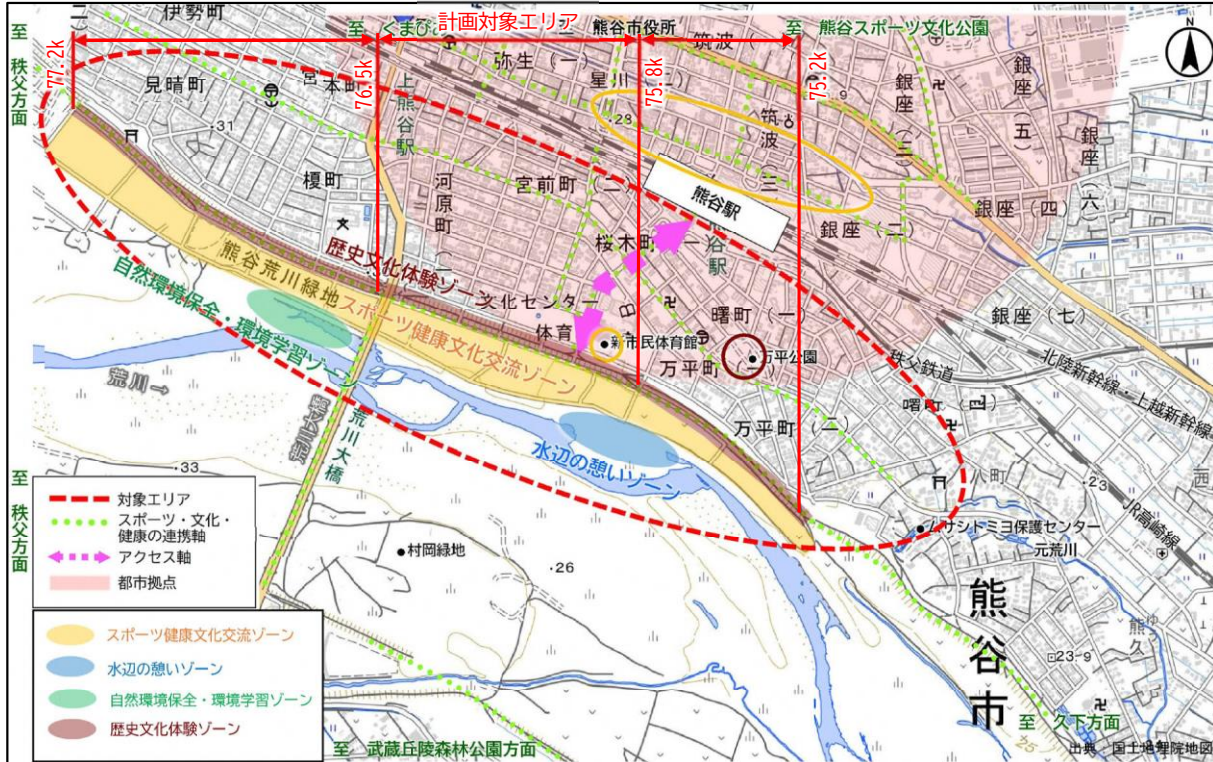


図3 熊谷市かわまちづくりゾーニング図

3. 整備内容

次の施設の整備を検討します。

表5 熊谷市かわまちづくり計画役割分担表

	熊谷市	国土交通省
ソフト	●荒川緑地再整備 ・バーベキュー利用スペースの貸出 ・さくら祭、花火大会等の往來の行事の継続的実施 ・地域防災活動や水辺の安全教育支援 ・地域イベント・集客イベント開催支援 ・SNS等を利用した地域の情報発信	●都市・地域再生等利用区域の指定 ●先進事例等の情報提供
ハード	●休憩施設 (②・⑧) ・トイレ ・ベンチ ・あずまや ●体育館と堤防を繋ぐ連絡通路 (⑦) ●荒川緑地再整備 ・駐車場 (⑨) ・スポーツ施設・広場等の維持充実 ・ドッグランの整備 (⑩) ●水辺利用 ・水辺の散策路 (⑫) ●情報発信施設 (⑪) ・各種サイン ・誘導路面標示 ●地域文化伝承施設 ・桜堤の保全 (⑬) ●堤防天端 ・歩行者、自転車の通行分離表示 (①) ・堤防道路の街灯整備 (⑤)	●堤防整備 (嵩上げ、拡幅) ●階段式護岸 (⑥) ●側帯 ●坂路 (堤防 川表・裏、自転車・緊急車両用) (④) ●坂路 (堤防 川表・裏、バリアフリー対応) (③) ●階段 (堤防 川表・裏) (③) ●水辺利用 ・親水護岸 (⑬) ・捨石 (⑬) ●自然学習環境 ・散策路 (舗装なし) + 階段整備 (⑮) ・多自然護岸 + 捨石設置 (⑭)

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り



かわまちづくり計画（イメージ図）

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り



水辺利用(親水護岸、捨石)(視点1)



側帯、堤防天端、休憩スペース(視点2)



4.整備の実現方策

・関連事業の整備計画

熊谷市では、荒川公園周辺再整備事業が実施中であり、堤防整備事業と当該事業との一体的な整備により、親水性を活かした魅力的な水辺等環境空間の創出を図ります。

4.1 共通

【地域の安心安全に寄与する(洪水・台風)】

取組内容(案)	今後の課題、留意点など	実施主体
(1)堤防整備 1)堤防整備(嵩上げ、拡幅)【堤防】	①周辺住宅や桜並木への影響を軽減する堤防拡幅(盛土)の検討((堤外地側)(川側)への盛土を基本として、国(河川管理者)と調整を図る)) ②堤防拡幅(盛土)工事による既設堤防の在来野草への影響と保全対策の検討	国 市

【地域防災力を高める地域活動を支援する空間】

取組内容(案)	今後の課題、留意点など	実施主体
(1)地域の防災活動を行うための環境整備 1)救急活動・防災活用に必要なおープンスペースの確保(救急ヘリポート、災害時の避難スペース、災害瓦礫置き場、大雪時の雪置き場等)【自由広場等】 ③ 2)堤防坂路の整備 ④ (緊急車両用のアクセス坂路、避難者用バリアフリースロープの整備)【堤防坂路】 ⑦ 3)新市民体育館との防災拠点連携 (防災倉庫等)【堤内地】	-	1) 市 2) 国 3) 市
(2)地域の防災訓練・防災教育活動支援 ⑪ 1)情報発信施設(防災情報案内看板等の設置 (災害リスク、過去の洪水、治水の歴史、流域治水等) 【自由広場等(実施:国・市・地域)】 A)地域の防災活動の充実 (防災訓練、防災学習イベント実施)【自由広場等】	①地域の防災活動の充実(実施体制・実施メニューの具体化)	1) 国・市・地域 A) 国・市・地域

4.2 スポーツ健康文化交流ゾーン

【荒川の自然・風景を楽しみながら気軽に健康づくりやスポーツを楽しむ空間(散歩、ランニング、サイクリング、地域スポーツ)】

【スポーツ観戦やイベント開催による地域交流・賑わいの空間】

【市内外の多様な人との出会いと交流を育む憩いの空間】

取組内容(案)	今後の課題、留意点など	実施主体
(1)堤防道路の利用を充実する環境整備 ② 1)堤防道路の休憩施設の整備 (堤防の側帯を活用したベンチ・四阿又は緑陰、サイクルラック)【堤防】 ⑪ 2)情報発信施設(案内・誘導サインの整備)【堤防】	①堤防道路利用の暑さ対策の検討(遮熱性舗装材の選定等。堤体管理、一般般利用者の通行、環境配慮(自然景観との調和、夏場の暑さ対策)に留意する) ②堤防道路の暑さ対策の検討(緑陰の充実等)河川管理の支障とならないよう留意する。 ③荒川沿いの自転車ネットワークの充実(国道横断部など)	市
B)堤防散策の魅力づくりの活動充実 (四季を通じた魅力、見どころ)【堤防】	①熊谷らしさの魅力の充実と発信(桜の開花時期(春)以外 の季節の魅力) ②魅力ある休憩拠点の運営事業者の誘致(新市民体育館連携) ③まちとの連携、まちへ誘う仕掛けづくり	市・地域
C)公園機能を充実する民間事業者の占用の誘致 【堤防】	①魅力ある休憩拠点運営事業者の誘致、占有・有料サービス提供・管理体制のルールづくり	市・地域

【荒川の自然・風景を楽しながら気軽に健康づくりやスポーツを楽しむ空間(散歩、ランニング、サイクリング、地域スポーツ)】

【スポーツ観戦やイベント開催による地域交流・賑わいの空間】

【市内外の多様な人との出会いと交流を育む憩いの空間】

	取組内容(案)	今後の課題、留意点など	実施主体
③	3)堤防坂路の整備(バリアフリースロープの整備) (再掲)【堤防】	-	3) 国
①	4)堤防道路の拡幅、歩行者と自転車の通行分離表示 (交通安全対策)【堤防】	-	4) 国、市
	D)交通安全、防犯対策自転車の交通ルール・マナー 周知活動や交通安全活動充実【堤防】	①自転車の交通ルール・マナーの周知活動や交通安全活動の充実 ②交通安全活動の実施体制、実施メニューの具体化	市
⑤	5)堤防道路の街灯整備(防犯対策)【堤防】	-	市
⑥	(2)花火大会や桜祭りの大規模イベント利用を充実する 環境整備 1)階段式護岸の整備(観覧席兼用)【堤防】	①イベント時の階段部の雑踏事故防止のためのハード・ソフト施策の検討 (ハード施策:まち側の階段拡幅) (ソフト施策:動線計画、交通誘導、安全管理) ②階段式護岸の最適配置・規模・構造の検討 (河川空間利用の充実と自然環境保全、夏場の暑さ対策の両立に留意する)。	国
⑦	2)新市民体育館と堤防を繋ぐ連絡通路の整備 【堤防】 3)新市民体育館との休憩拠点連携 (新市民体育館との連携メニュー、休憩、情報発信、管理棟機能)【堤防】	①新市民体育館内施設との連携に向けた計画調整の必要性 ※新市民体育館内のユニバーサルデザイン対応施設の共有(休憩施設(カフェ・トイレや観覧席)、エレベーター、ロッカー等)	2) 市 3) 市
⑬	(3)水辺、山並みの風景、桜堤の景観の魅力の充実と、 その保全と継承 1)熊谷桜堤の保全対策(工事影響の最小化) 【堤防(実施:市)】	①かわまちづくり工事による桜堤への影響を最小化する措置の検討(構造、施工方法、代替措置、桜の更新計画と連携)	市
⑧	(4)高水敷の利用を充実する環境整備 1)河川敷地内の休憩施設(ベンチ、移動式トイレ、緑陰等)【自由広場・グランド等】	①河川敷地内の歩行者の主動線のバリアフリー対応の検討(堤内地(まち側)⇄堤防道路⇄広場⇄トイレ、休憩施設、河川敷地駐車場、水辺)(最短経路、バリアフリースロープ、施設のバリアフリー対応) ②イベント実施のための指導者の育成の検討 ③イベント利用など多様な利用に配慮したインフラ整備の検討 ④新市民体育館施設との連携の検討	市
⑨	2)駐車場整備(必要な駐車・駐輪機能の充実) 【自由広場・グランド等(実施:市)】	①駐車場規模・配置の最適化の検討(バス利用を考慮) ②徒歩・自転車(シェアサイクル等)・公共交通アクセスの充実と連動した駐車需要マネジメント ③安全な利用、多様なニーズに対応する駐車場の運用方法の最適化の検討(日常時・イベント時) ④周辺まちづくり(土地利用・歩行者動線・新市民体育館整備)と連携の検討 ⑤イベント時の体育館前道路の路上駐車対策の検討 ⑥荒川大橋上流側(見晴公園坂路側)の駐車場の整備の検討 ⑦駐車場整備に伴う夏場の暑さが増すことや自然環境への影響の懸念事項への対応の検討	市
④	3)堤防坂路の整備(自転車・車両用) (交通安全対策(拡幅・線形改良)(再掲) 【自由広場・グランド等(実施:国)】	①桜木小学校前坂路と別ルートの坂路の検討(見晴公園側坂路の改良、万平公園側坂路の追加整備、荒川大橋から河川敷への坂路の追加整備) ②運用方法の最適化の検討(イベント時の坂路の混雑対策、桜木小学校前坂路の時間制限の解除等) ③花見利用を考慮した堤防坂路の配置の検討	国

【荒川の自然・風景を楽しみながら気軽に健康づくりやスポーツを楽しむ空間(散歩、ランニング、サイクリング、地域スポーツ)】

【スポーツ観戦やイベント開催による地域交流・賑わいの空間】

【市内外の多様な人との出会いと交流を育む憩いの空間】

取組内容(案)	今後の課題、留意点など	実施主体
⑩ 4)スポーツ施設・広場等の維持充実、ドッグランの整備 (ラグビー場、グラウンド、自由広場) 【自由広場・グラウンド等】	①ニーズを踏まえたスポーツ施設の充実 (多様な人の利用、既存利用への配慮) ②子どもの遊び場機能の充実 ・河川敷地内で設置可能な公園遊具の検討(洪水時に撤去可能な遊具等) ・安全性に留意した親水公園の検討 ③多様な利用に配慮した空間のつかい方の検討 (スポーツ利用等の既存の利用との共存に留意) ④新たな魅力づくり ・桜の季節以外の花の植栽、若者たちのデートスポット・イベントやスポーツ以外の魅力づくり ・新市民体育館と連携した民間サービスの誘致 (キッチンカー、カフェ)による休憩機能の充実	市
(5)地域交流・健康づくり、スポーツイベントの開催 E)地域交流・健康づくり、スポーツイベント活動の充実 【自由広場・グラウンド等(実施:国・市)】	①多様なイベント利用の充実(実施体制、実施メニューの具体化) ②イベント開催時のルールの検討(火の利用) ③イベント開催の支援の仕組み・地域連携の検討 ②イベント開催時のルールの検討(騒音、ゴミ、火の利用等の周辺の住環境保全と賑わい創出の両立、夏場の暑さ対策) ④イベント時の車渋滞対策、歩行者等の動線計画 ⑤多様な利用に配慮したイベントの充実(インクルーシブメニュー、バリアフリー教育活動との連携) ⑥河川敷地内の市民参加型の維持管理体制の検討 (清掃、除草、防犯活動等)	市
(6)官民連携・市民協働による公園機能の充実と維持管理体制の構築 1)緑陰の維持・充実【いきいき広場】	-	市
C)公園機能を充実する民間事業者の占用の誘致 (アウトドア用品・運動遊具貸し出し、バーベキュー場の運営等)【いきいき広場、自由広場等(実施:市)】	①イベント施設配置のルールの検討(貸出サービス・保管含む) ②民間事業者による占有・有料サービス提供・管理体制の検討 ③バーベキュー利用のルールづくり(騒音、ゴミ、火の利用等の周辺の住環境保全と賑わい創出の両立、環境配慮に留意)	市
(7)「駅」と「かわ」と「まち」の移動を安全、快適、楽しむアクセス環境の整備 1)周辺まちづくり計画と連携した歩行者等、自転車、自動車の動線計画 2)自動車交通量の増加や駐車需要の増加に対応した周辺道路の交通環境の整備(道路・駐車場) 3)熊谷駅南口から新市民体育館前を通り、荒川にアクセスする歩行者動線の整備(人中心のウォーカブルな空間整備、シェアモビリティ、楽しむ移動) 【堤内地(熊谷駅周辺)】	①自動車、自転車、歩行者の動線計画の検討 ②荒川公園から河川敷までの連続した賑わい創出の検討、人中心でウォーカブルな交通環境の充実 ③駅から堤防までのペDESTリアンデッキ整備の検討 ④周辺まちづくり計画と一体的な計画検討(駅南口エリアまちづくり、荒川公園周辺再整備計画、かわまちづくり) ⑤荒川公園再整備計画と連携した熊谷駅南口から新市民体育館前の自動車・歩行者アクセス路の検討 ⑥対岸エリアへのアプローチは、将来エリアを対岸に拡大する際に検討	市

4.3 自然環境保全・環境学習ゾーン

【身近な自然の保全・生物多様性を高める空間】

取組内容(案)	今後の課題、留意点など	実施主体
⑭ (1)荒川中流域の自然環境の特性を踏まえた、生物多様性を高める空間整備 1)多自然護岸+捨て石設置 (生き物の生息環境の充実) ・多自然護岸(覆土)、捨て石設置により、土砂が自然堆積し、在来種による水際環境(エコトーン)の形成を促し、河川の生物の生息環境の充実を図る 【水辺、低水護岸】	①河川敷エコ利用ゾーン (自然環境20%維持)に留意する ②希少種の有無に関わらず、開発に伴う生物の生息空間への影響に留意する ③堤防整備における緑地に対する在来野草の保全措置の検討 ④自然環境の保全に留意する(水際の樹木の保全、礫 河原の保全)	国

【地域の自然環境学習を充実する空間】

【将来の環境を守り育てる担い手づくり】

取組内容(案)	今後の課題、留意点など	実施主体
⑮ (1)自然環境の保全に配慮し、子供たちが安心して自然と触れ合える水辺空間の整備 (2)自然学習イベントの開催支援 (3)地域の環境保全活動の開催支援 1)散策路(舗装無し)+階段(低水護岸)の整備 (子ども等の水辺利用の安全性確保に必要最小限の整備) 【水辺、低水護岸】 H)荒川及び河川敷地の豊かな自然環境の保全、創出を目指す環境学習活動の充実(学校連携、市民参加) 【水辺】	①自然学習イベントの充実(実施体制、実施メニューの具体化)※学校連携、埼玉県立博物館との連携等 ②エリア内の環境に配慮した維持管理のルールづくり(除草剤等) ③熊谷市ムサシミヨ保護センターで実施する自然学習イベントとの連携	国(階段)市(散策路)

4.4 水辺の憩いゾーン

【地域防災力を高め、水辺の安全利用を周知する地域活動を支援する空間】

取組内容(案)	今後の課題、留意点など	実施主体
(1)地域の防災活動や川の安全な利用の普及活動を行うための環境整備 (2)防災活動や川の安全な利用の普及活動に係る地域活動の支援 ⑬ 1)親水護岸の整備 (階段式護岸による水辺へのアプローチの整備) 【低水護岸】 G)川の安全な利用の普及活動の充実 【水辺】	①川の安全な利用のためのルールや川の危険情報の周知、子どもへの安全教育の充実	国

【荒川の水辺を眺め・やすらぎや涼を感じられる憩いの空間】

【安全性や環境配慮に留意したアウトドアや健康づくりを楽しむ空間】

取組内容(案)	今後の課題、留意点など	実施主体
(1)水辺の眺望や夏場の涼を楽しむ水際の環境整備 (2)水辺のアウトドアの環境整備 (3)水辺の涼を感じながら楽しむイベント等の開催支援 ⑫ 1)水辺の散策路の整備 【水辺・低水護岸】	①散策路の安全対策(転落防止) ②散策路の快適性の確保(夏場の暑さ対策、歩きやすさや景観に配慮した舗装材の検討) ③環境に配慮した親水護岸構造の検討	市
⑬ 2)親水護岸及び捨て石設置(川の流れを弱める) 【水辺】 ・捨て石による治水、親水機能充実の効果 捨て石を設置することで、分流水路の流速を軽減し護岸への侵食を軽減するとともに、平常時の滞筋を河道中央へ誘導する ・捨て石による環境、生物多様性の充実の効果 捨て石の上流側に土砂が堆積し、在来植生による水際環境(エコトーン)の形成を促し、河川の生物の生息環境の充実を図る	①環境に配慮した親水護岸整備の検討 ②子供の安全な利用、河川の生き物との触れ合い、レジャーができる空間の検討	国
F)川に親しむ水辺のアクティビティイベントの活動の充実 【水辺・低水護岸(実施:市)】	①水辺の健康・スポーツイベント利用の充実(体制、実施メニューの具体化) ②夏以外の季節も含め、体が不自由な人も含め市民が集まる水辺の魅力の充実 ③遊歩道の安全対策(転落事故防止) ④水辺のアクティビティイベント利用の充実(体制、実施メニュー)	市
C)公園機能を充実する民間事業者の占用の誘致 【水辺・低水護岸(実施:市)】	①水辺のアクティビティイベントの運営を担う民間事業者の誘致、占有・有料サービス提供・管理体制のルールづくり ②夏以外の季節も含め、体が不自由な人も含め市民が集まる魅力の充実	市

4.5 歴史文化体験ゾーン

【熊谷らしさや人とのつながりを大切にする空間づくりにより、熊谷市への愛着と誇りを育む空間】

取組内容(案)	今後の課題、留意点など	実施主体
(1)計画地周辺の中山道等の歴史文化の見どころを 繋ぎ、「かわ」と「まち」を繋ぐ回遊ルートの整備 (2)SNSを用いた「かわ」と「まち」をつなぐ情報発信 (3)歴史体験イベントの開催 1)熊谷桜堤など風景の保全、継承の活動支援 【堤内地(熊谷駅周辺)】	①熊谷桜堤の保全、継承活動の充実(実施体制、実施メニューの具体化) ②かわまちづくりを通じた熊谷桜堤の魅力の発信、持続可能な保全継承のあり方(目標、保全活動計画、担い手育成、資金調達等)	市・地域
1)旧熊谷堤や中山道の歴史資源を活かした、「かわ」と「まち」を繋ぐ回遊ルート、フットパスの整備 【堤内地(熊谷駅周辺)】 2)情報発信施設(案内看板の整備) 【堤内地(熊谷駅周辺)】	①熊谷市の荒川ならではの歴史に関する魅力・見どころの発信 ②周辺まちづくり計画と一体的な計画検討(南口エリア、北口エリア、まちづくり、荒川公園周辺再整備計画、かわまちづくり)(再掲)	市
J)歴史資源を活用したまちとの連携の活動充実 【堤内地(熊谷駅周辺)】	①歴史資源に関する魅力の発信 ②歴史や文化を学ぶ歴史散策ルートやイベント利用の充実(実施体制、実施メニューの具体化) ③周辺の歴史資源との連携メニューの具体化 ④まちとの連携、まちへ誘う仕掛けづくり(再掲)	市

【過去の水害の歴史や、治水遺産を学び、災害を自分事化する空間】

取組内容(案)	今後の課題、留意点など	実施主体
(1)治水の歴史を学習・体験するイベントの開催 (2)流域治水(上下流の自治体連携)を学習・体験するイベントの開催 ⑪ 1)情報発信施設(過去の水害の歴史や、治水遺産を解説する案内看板の設置)【堤防等】 K)水災害の歴史、治水遺産の情報発信の充実【堤防等】	③周辺の歴史資源との連携メニューの具体化	市

表6 熊谷市かわまちづくり計画役割分担表

	熊谷市	国土交通省
ソフト	●荒川緑地再整備 ・バーベキュー利用スペースの貸出 ・さくら祭、花火大会等の往來の行事の継続的実施 ・地域防災活動や水辺の安全教育支援 ・地域イベント・集客イベント開催支援 ・SNS等を利用した地域の情報発信	●都市・地域再生等利用区域の指定 ●先進事例等の情報提供
ハード	●休憩施設 (②・⑧) ・トイレ ・ベンチ ・あずまや ●体育館と堤防を繋ぐ連絡通路 (⑦) ●荒川緑地再整備 ・駐車場 (⑨) ・スポーツ施設・広場等の維持充実 ・ドッグランの整備 (⑩) ●水辺利用 ・水辺の散策路 (⑫) ●情報発信施設 (⑪) ・各種サイン ・誘導路面標示 ●地域文化伝承施設 ・桜堤の保全 (⑬) ●堤防天端 ・歩行者、自転車の通行分離表示 (①) ・堤防道路の街灯整備 (⑤)	●堤防整備 (嵩上げ、拡幅) ●階段式護岸 (⑥) ●側帯 ●坂路 (堤防 川表・裏、自転車・緊急車両用)(④) ●坂路 (堤防 川表・裏、バリアフリー対応) (③) ●階段 (堤防 川表・裏) (③) ●水辺利用 ・親水護岸 (⑬) ・捨石 (⑬) ●自然学習環境 ・散策路 (舗装なし) + 階段整備 (⑮) ・多自然護岸 + 捨石設置 (⑭)

表7 熊谷市かわまちづくり計画整備工程

種別	事業者	事業内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
堤防整備	国土交通省	嵩上げ、拡幅		計画設計		工事			
階段式護岸	国土交通省	階段式護岸		計画設計		工事			
堤防側帯	国土交通省	堤防側帯		計画設計		工事			
堤防坂路	国土交通省	自動車、緊急車両用		計画設計		工事			
スロープ	国土交通省	バリアフリーのスロープ		計画設計		工事			
階段工	国土交通省	階段工		計画設計		工事			
水辺利用	国土交通省	親水護岸、捨石設置		計画設計		工事			
自然学習環境	国土交通省	捨石設置、階段工		計画設計		工事			
休息・休憩施設	熊谷市	トイレ、ベンチ、あずまや				計画設計	工事		
荒川緑地再整備	熊谷市	駐車場、ラグビー場、バーベキュー、ドッグラン				計画設計	工事		
水辺利用	熊谷市	水辺の散策路				計画設計	工事		
情報発信施設	熊谷市	各種サイン、誘導路面標示				計画設計	工事		
地域文化伝承施設	熊谷市	桜堤の保全				計画設計	工事		
堤防天端	熊谷市	歩行者・自転車の通行分離				計画設計	工事		

注)体育館と堤防天端をつなぐ連絡橋は、体育館事業とスケジュール調整の上、整備する

5.多自然川づくりに関する事項

- ・多自然川づくり(捨石設置、多自然護岸など)により土砂が堆積し、湿地環境が形成されることにより在来植生の生育を促し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖の場の充実を図ります。

6.その他特筆すべき事項

- ・要確認

<様式5>

維持管理計画書

1.持続的な有効利用に関する計画
・新体育館との連携や高水敷の利活用促進に関して、「親子でマラソン大会」「未来の担い手を育成するための建設機械及び建設資材に触れようイベント」の開催を検討中です。 市民・行政協働のかわまちづくりでの活動(案)を検討予定(第3回ワークショップ)
2.維持管理計画
・日常的な管理は熊谷市。河川占用にて整備した構造物等も熊谷市にて管理を行います。 市民・行政協働のかわまちづくりでの活動(案)を検討予定(第3回ワークショップ)

表4.1 論点4 活動の展開に関する意見まとめ（スポーツ健康文化交流ゾーン）

計画書に載せる情報								※完成形堤防での整備を想定	
役割	取組内容（案）	場所	必要な施策 （凡例）青：ハード施策 ピンク：ソフト施策 黒：今後の課題、留意点など	実施 主体	かわまちづくり計画に記載する項目	意見	意見概要 （凡例）■：関係者ヒアリング・協議会 ■：ワークショップ		
1. 地域の安全安心に寄与する （洪水・台風）	(1)堤防整備	堤防	1) 堤防整備（完成形堤防に嵩上げ、拡幅）	国	ハード施策（案）	WS①	・土手の整備		
			①周辺住宅や桜並木への影響を軽減する堤防拡幅（盛土）の検討 （堤外地側）（川側）への盛土を基本として、国（河川管理者）と調整を図る）	国	次年度以降調整	ヒアリング	▲堤内地側の盛土整備による道路への影響や法崩れによる住宅への影響が心配		
			②堤防拡幅（盛土）工事による既設堤防の在来野草への影響と保全対策の検討	市	次年度以降調整	ヒアリング	▲土手に盛土しないでほしい[・ 暗くなる、桜が切られちゃう、土が流れてきたら危険]		
				－	現案は、土手と公園の一体化（公園の嵩上げ）を計画していない。	WS①	▲土手と公園一体化危険		
2. 地域防災力を高める地域活動を支援する空間	(1)地域の防災活動を行うための環境整備	自由広場等	1) 救急活動・防災活用に必要なオープンスペースの確保（救急ヘリポート、災害時の避難スペース、災害瓦礫置き場、大雪時の雪置き場等）	市	ハード施策（案）	協①	・荒川の水害に関する対策について、川辺のみでなく、避難施設も含めて検討してほしい。		
		③④ 堤防坂路※	2) 堤防坂路の整備 （緊急車両用のアクセス坂路、避難者用バリアフリースロープの整備）	国	ハード施策（案）	WS①	・災害時のオープンスペース機能の確保・防災拠点としての機能も重要		
		堤内地⑦	3) 新市民体育館との防災拠点連携（防災倉庫等）	市	ハード施策（案） ※新市民体育館との連携事項	ヒアリング	・荒川公園、体育館（建て替え）と荒川緑地の防災拠点連携の視点は重要		
	(2)地域の防災訓練・防災教育活動支援	自由広場等⑪	1) 情報発信施設（防災情報案内看板等の設置） （災害リスク、過去の洪水、治水の歴史、流域治水等） A) 地域の防災活動の充実（防災訓練、防災学習イベント実施支援） ①地域の防災活動の充実（実施体制、実施メニューの具体化）	市・国・地域	次年度以降調整	ヒアリング	・市民体育館＋荒川公園で防災イベントを実施できると良い。		
	3-1. 荒川の自然・風景を楽しみながら気軽に健康づくりやスポーツを楽しむ空間（散歩、ランニング、サイクリング、地域スポーツ） 3-2. スポーツ観戦やイベント開催による地域交流・賑わいの空間 3-3. 市内外の多様な人との出会いと交流を育む憩いの空間	(1)堤防道路の利用を充実する環境整備	堤防※	② 1) 堤防道路の休憩施設の整備 （堤防の側帯を活用したベンチ・四阿又は緑陰、サイクルラック）	市	ハード施策（案）	WS②	・360℃熊谷の景色が楽しめる	
⑪ 2) 情報発信施設（案内・誘導サインの整備）				市	ハード施策（案）	ヒアリング	・案内看板などに東京までの距離を記載する等、工夫があると良い。		
				市	次年度以降調整	ヒアリング	・熊谷市は自転車が乗り易い平坦地で、荒川の上下流の隣接市と連携を図る上で自転車は有効な要素と考える。		
				市	次年度以降調整	ヒアリング	・散歩コースとしてとても魅力があるコースであり、その魅力を知ってもらい、利用してもらいたい。		
				市	次年度以降調整	WS①	・河川敷エリア全般的に避暑地的な休けい場所とユニバーサルデザイン的なトイレを増やす		
①堤防道路利用の暑さ対策の検討（遮熱性舗装材の選定等。堤体管理、一般般利用者の通行、環境配慮（自然景観との調和、夏場の暑さ対策）に留意する）				市	次年度以降調整	ヒアリング	・堤防道路を遮熱性舗装にしてほしい。		
②堤防道路の暑さ対策の検討（緑陰の充実等） 河川管理の支障とならないよう留意する。				国・市	次年度以降調整	WS②	・「四阿」よりも「大きな木」をうえて10年後、50年後も良かったと思える開発を願う ・「四阿」よりも「大きな木」を！10年後も美しく		
③荒川沿いの自転車ネットワークの充実（国道横断部など）				国・市		WS②	▲自転車道が通り抜けられない（国道407号によるネットワークの分断）		
				－	雨水の堤体への浸透抑制、河川巡視や住民の散策路やサイクリングロード利用の安全確保の観点から、当該区間では堤防天端の舗装は必要と考えます。	ヒアリング	・天端の舗装は生物の移動の妨げになるため、野鳥の森区間では舗装を実施しない様に要望している。		
B) 堤防散策の魅力づくりの活動充実 （四季を通じた魅力、見どころ） ①熊谷らしさの魅力の充実と発信（桜の開花時期（春）以外 の季節の魅力） ②魅力ある休憩拠点の運営事業者の誘致（新市民体育館連携） ③まちとの連携、まちへ誘う仕掛けづくり				市・地域	次年度以降調整	WS②	・堤防に花をいっぱいにする。桜以外の時期にも！		
C) 公園機能を充実する民間事業者の占用の誘致 ①魅力ある休憩拠点運営事業者の誘致、占用・有料サービス提供・管理体制のルールづくり				市・立正大学		ヒアリング	▲サイクリングやスポーツ利用の人をまちに呼び込むことはとても難しい。		
				市・立正大学		WS①	・立正大学との連携。まちなか		
③ 3) 堤防坂路の整備（バリアフリースロープの整備）（再掲）				国	WS①	・高齢者や障害のある方も気軽に利用できる環境への配慮			
					ヒアリング	・高齢者の方々が安心して歩ける道路、階段（手すり付き）、スロープを設置してほしい。			
					ヒアリング	・バリアフリーに対応したスロープがあると車椅子でアクセスがしやすくなる。			
	ヒアリング	・現状の河川敷内への坂路は遠く、坂路の勾配が急で、車椅子では移動が困難。							
	ヒアリング	・スロープは、目的地に遠回りとならないような位置に配置が必要（高齢者利用、車椅子利用、ベビーカー利用等）							
	－	河川敷地内は洪水時の浸水リスクがあり、のエスカレータの整備は困難です。新市民体育館内のエレベータ施設を利用し、堤防上でアクセスできるよう、今後体育館整備と連携調整します。	WS①	・エスカレーターのような設備を作してほしい					

表4.1 論点4 活動の展開に関する意見まとめ（スポーツ健康文化交流ゾーン）

計画書に載せる情報							
役割	取組内容（案）	場所	必要な施策 （凡例）青：ハード施策 ピンク：ソフト施策 黒：今後の課題、留意点など	実施 主体	かわまちづくり計画に記載する項目	意見	意見概要 （凡例）■：関係者ヒアリング・協議会 ■：ワークショップ ※完成形堤防での整備を想定
3-1. 荒川の自然・風景を楽しみながら気軽に健康づくりやスポーツを楽しむ空間（散歩、ランニング、サイクリング、地域スポーツ） 3-2. スポーツ観戦やイベント開催による地域交流・賑わいの空間 3-3. 市内外の多様な人との出会いと交流を育む憩いの空間	(1)堤防道路の利用を充実する環境整備	堤防※	④ 4)堤防道路の拡幅、歩行者と自転車の通行分離表示（交通安全対策）	国・市	ハード施策（案）	WS①	・サイクリングロードの整備（車用・分離）[自転車専用道路の整備（安心、安全）]
			D)交通安全、防犯対策自転車の交通ルール・マナー周知活動や交通安全活動充実 ①自転車の交通ルール・マナーの周知活動や交通安全活動の充実 ②交通安全活動の実施体制、実施メニューの具体化	市	ソフト施策（案）	ヒアリング	・堤防上の道路の自転車（スポーツバイク）と歩行者の通行空間の分離等の歩行者の安全対策が必要。
			⑤ 5)堤防道路の街灯整備（防犯対策）	市	ハード施策（案）	ヒアリング 協②	・ランニングコース（堤防道路、高水敷）に街灯等の夜間利用の防犯対策が必要 ・安全に関し、治安面も含め検討してほしい。例えば、河川敷地や堤防上に、夜間の治安確保のための照明を整備することは可能か。
	(2)花火大会や桜祭りの大規模イベント利用を充実する環境整備	堤防※	⑥ 1) 階段式護岸の整備（観覧席用） ①イベント時の階段部の雑踏事故防止のためのハード・ソフト施策の検討 （ハード施策：まち側の階段拡幅） （ソフト施策：動線計画、交通誘導、安全管理）	国	ハード施策（案）	ヒアリング WS①	・階段式護岸はスポーツ観戦できて良い ・ラグビーを観覧する場所がほしい
				市	次年度以降調整	ヒアリング	▲階段式護岸は完成堤防での整備が必要
				国	ハード施策（案）	ヒアリング	・階段式護岸になると花火が見やすくなり良い。川側だけでなくまち側にも階段を設けないと事故の危険等が懸念される。
				市	次年度以降調整	協①	・イベント時の雑踏事故防止に配慮した動線計画、堤防道路や階段の拡幅整備が必要 ・活動ごとの動線を整理したい。今、歩行、自転車、車両の動線が重なり危険な状態。
	(2)花火大会や桜祭りの大規模イベント利用を充実する環境整備	堤防※	⑦ ②階段式護岸の最適配置・規模・構造の検討（河川空間利用の充実と自然環境保全、夏場の暑さ対策の両立に留意する）。 2) 新市民体育館と堤防を繋ぐ連絡通路の整備 3)新市民体育館との休憩拠点連携（新市民体育館との連携メニュー、休憩、情報発信、管理棟機能）	国	次年度以降調整	ヒアリング	▲現状の土堤をコンクリート製の階段護岸等の整備を実施する場合は、地域の環境団体等への説明及び代替措置の検討が必要
				市	ハード施策（案） ※新市民体育館との連携事項	ヒアリング WS②	・現在の自然を残した整備にしてほしい。 ▲環境保全上は、階段護岸は避け、草地在望ましい。 ▲階段式護岸で緑の土手をコンクリにしないで。（花火や桜は短期間だけ）
				市	ハード施策（案） ※新市民体育館との連携事項	ヒアリング	・堤防を拡幅して体育館とつながると良い
				市	ハード施策（案） ※新市民体育館との連携事項	WS①	▲新体育館のデザインにもよりますが、体育館からのアプローチデッキから荒川土手へ降りられると至便では？
				市	ハード施策（案） ※新市民体育館との連携事項	ヒアリング	・堤防上または新体育館に体が不自由な人に配慮した観覧席やVIP用の観覧席が整備されると良い
				市	ハード施策（案） ※新市民体育館との連携事項	WS①	・河川敷エリア全般的に避暑地的な休けい場所とユニバーサルデザイン的なトイレを増やす（再掲）
				市	ハード施策（案） ※新市民体育館との連携事項	ヒアリング	・土手に安全できれいなトイレのある飲食店が整備されると良い
				市	ハード施策（案） ※新市民体育館との連携事項	ヒアリング	・遠方から人が集まる休憩拠点の充実が重要（かわまちや熊谷の地域の魅力の情報発信のメリットがある）
	(3)水辺、山並みの風景、桜堤の景観の魅力の充実と、その保全と継承	堤防※	⑩ 1) 熊谷桜堤の保全対策（工事影響の最小化） ①かわまちづくり工事による桜堤への影響を最小化する措置の検討（構造、施工方法、代替措置、桜の更新計画と連携）	市	ハード施策（案） ※新市民体育館との連携事項	ヒアリング	・サイクリストの休憩拠点の整備が必要（荒川サイクリングロード、秩父鉄道サイクルトレインとの連携）
				市	ハード施策（案） ※新市民体育館との連携事項	ヒアリング	・まちおこしを目指し、人が集まる場所にするためには、若者が気軽に立ち寄れる場所や、行きたいと思うランドマークなどがあると良い（荒川を望むオープンカフェ等）
				市	ハード施策（案） ※新市民体育館との連携事項	ヒアリング	・熊谷桜堤は桜百選に指定されており、最新技術を駆使し必ず残してほしい。 ▲堤防天端に施設を設ける等した場合、桜堤の景観が損なわれるため、桜堤に影響するような整備は反対である。
				市	ハード施策（案） ※新市民体育館との連携事項	ヒアリング	▲桜並木の保全と堤防拡幅や階段敷護岸の工事の両立を考える必要がある。 ・菜の花がコロナ禍で斜面に広がり、花見をする場所を確保しづらい状況となっているため、場所を確保できるようにしてほしい。
	(4)高水敷の利用を充実する環境整備	自由広場 グラウンド等	⑧ 1)河川敷地内の休憩施設（ベンチ、移動式トイレ、緑陰など） ①河川敷地内の歩行者の主動線のバリアフリー対応の検討（堤内地（まち側）⇄堤防道路⇄広場⇄トイレ、休憩施設、河川敷地駐車場、水辺）（最短経路、バリアフリースロープ、施設のバリアフリー対応） ②イベント実施のための指導者の育成の検討	市	ハード施策（案）	WS①	・菜の花がコロナ禍で斜面に広がり、花見をする場所を確保しづらい状況となっているため、場所を確保できるようにしてほしい。
				市	ハード施策（案）	WS①	▲桜並木をこわさないでほしい
				市	ハード施策（案）	WS①	▲カフェなど作って桜を切らない
				市	ハード施策（案）	ヒアリング	・河川敷地内の高木の木陰を活かした涼める場所を作ったらどうか。
				市	ハード施策（案）	協①	・暑さについての対策は必要。夏場は20分もいられないです
				市	ハード施策（案）	協①	・暑い街熊谷、日影を作るための植栽は可能か。休憩用のベンチの設置は可能か？
				市	ハード施策（案）	WS①	・全体的に日影が増えて過ごしやすくなって欲しいです。
				市	ハード施策（案）	WS①	・河川敷エリア全般的に避暑地的な休けい場所とユニバーサルデザイン的なトイレを増やす（再掲）
				市	ハード施策（案）	WS①	・大木の日照を活かした整備（上流側）〔・犬の散歩やスポーツ利用者の保護者が利用〕（再掲）
				市	ハード施策（案）	ヒアリング	・台風襲来時の四阿・柵・トイレの移動の対応方法、体制を決める必要がある
				市	ハード施策（案）	ヒアリング	▲出水後の河川敷の流木撤去等の復旧の体制の検討が必要
				市・地域団体	次年度以降調整	ヒアリング	・体の不自由な人等がポッチャなどのスポーツができる環境づくり、指導者の育成が必要
				市・地域団体	次年度以降調整	ヒアリング	・体が不自由な方や高齢者のアクセス利便の向上、楽しむ施設の充実が必要
				市・地域団体	次年度以降調整	協①	・河川敷までの動線も土手を下った所もデコボコ段差があったり、駐車場も大きな穴だらけだったので車いす、ベビーカー、足の不自由な人が使いにくいので出来ることから改善してほしい。
				市・地域団体	次年度以降調整	ヒアリング	・堤防から水辺までの連続したアクセスしやすさを考える必要がある。
				市・地域団体	次年度以降調整	WS②	▲バリアフリーのスロープにするのであれば、降りた先も、障害者の方でも利用しやすくしてほしい
				市・地域団体	次年度以降調整	協①	・河川敷にある車いすトイレは（他の地域）防犯の観点からカギがかかっている事が多いので、何か対策を。

表4.1 論点4 活動の展開に関する意見まとめ（スポーツ健康文化交流ゾーン）

計画書に載せる情報

※完成形堤防での整備を想定

役割	取組内容（案）	場所	必要な施策 （凡例）青：ハード施策　ピンク：ソフト施策 黒：今後の課題、留意点など	実施 主体	かわまちづくり計画に記載する項目	意見	意見概要 （凡例）■：関係者ヒアリング・協議会　■：ワークショップ
3-1. 荒川の自然・風景を楽し ながら気軽に健康づくりやスポー ツを楽しむ空間（散歩、ランニ ング、サイクリング、地域ス ポーツ） 3-2. スポーツ観戦やイベント開 催による地域交流・賑わいの空 間 3-3. 市内外の多様な人との出会 いと交流を育む憩いの空間	(4)高水敷の利用を充実す る環境整備	⑨	③イベント利用など多様な利用に配慮したインフラ整備 の検討	市	次年度以降調整	WS②	・土手の下に水道があると良い
			④新市民体育館施設との連携の検討			WS②	・着がえできるスペースがあるといい
						WS②	・トイレの整備
						WS②	・トイレの数を増やしたいです。
			3) 駐車場整備（必要な駐車・駐輪機能の充実）	市	ハード施策（案）	ヒアリング	・河川敷地の駐車場の駐車容量の拡充
						WS①	・駐車台数。駐車場への登坂道の改善が必要〔・体育館の駐車場は狭く、バスが駐車するとさらに駐車出来る台 数が減る〕
						WS②	・A.B.C案共通　駐車場は土手の近く
			①駐車場規模・配置の最適化の検討（バス利用を考慮）	市	次年度以降調整	協①	・駐車場の規模・位置
			②徒歩・自転車（シェアサイクル等）・公共交通アクセ スの充実と連動した駐車需要マネジメント	市	次年度以降調整	WS①	・駐車場整備〔・駐車場を河川敷に設置（体育館）、駐車場がないと多くの人が集まらない〔・レンタサイクル でアクセスする方法もある〕・管理を柔軟に運用できないと、せっかくの駐車場施設もうまく機能しない。〕
						WS①	・バス停
						WS②	・交通手段としてのシェアサイクルの活用はどうか？
			③安全な利用、多様なニーズに対応する駐車場の運用方 法の最適化の検討（日常時・イベント時）	市	次年度以降調整	WS①	・駐車場のルール化〔駐車場のアクセス（一方通行・ルール、駐車場一方通行→スピードを出す人が増えて危険 →段を設ける、イベント時やスポーツ利用時の駐車場有料化、）
						WS②	・駐車場の利用時間をフリーにしてほしい
						WS②	▲キャンピングカー大型車の侵入制限はあるのか？
						WS②	・駐車場が一箇所でない方が良い。今現在土日はラグビー場のまわりに駐車しているので。
						WS②	▲坂路・駐車場1ヶ所では難しい
			④周辺まちづくり（土地利用・歩行者動線・新市民体育 館整備）と連携の検討	市	次年度以降調整	WS②	▲体育館の規模拡大すると駐車台数も増やさないとパンクする！
			⑤イベント時の体育館前道路の路上駐車対策の検討	市	次年度以降調整	WS①	・駐車場確保のための道路拡大〔体育館前の道路は土日に路駐が多い〕
		④	⑥荒川大橋上流側（見晴公園坂路側）の駐車場の整備の 検討	市	次年度以降調整	WS②	▲坂路は上・下流一カ所ずつ。駐車場も同様。駐車場の場所から使用施設が遠い場合利用しない。
						WS②	・駐車場は、体育館用と川遊び用で分ける
						WS②	見晴公園出入口を考えた駐車場を作る
			⑦駐車場整備に伴う夏場の暑さが増すことや自然環境へ の影響の懸念事項への対応の検討	市	次年度以降調整	ヒアリング	▲駐車場整備による夏場の暑さが増すことへの懸念
						WS①	▲簡単に車が入れると環境破壊につながる恐れがある。
						WS①	▲桜木小のこの坂路はV字型をI字型に改めるべき〔・V字の坂路が大変〕
						WS①	・駐車場のアクセス（道路）を広げる片側1車で直線で通れる(駐車場も整備)
						WS②	・A.B.C案共通　新体育館と駐車場の間直線にして欲しい
			4) 堤防坂路の整備（自転車・車両用） （交通安全対策（拡幅・線形改良）（再掲））	国	ハード施策（案）	WS①	・坂路の拡張〔・駐車場を整備する上でも坂路を拡張しない、・バスが交互通行ができない。改善しないともっ たいない。〕 〔・河川敷駐車場は雨の日に利用すると泥だらけになる〕
						WS②	▲坂路だけ広く考えてもらえば良い
						ヒアリング	・自転車が安全に利用できる緩勾配の坂路があると良い
						WS②	ラグビー場には平日高校生が自転車利用している。階段だけでなく自転車道も作って上げたい。
		国・市	①桜木小学校前坂路と別ルートの坂路の検討（見晴公園 側坂路の改良、万平公園側坂路の追加整備、荒川大橋か ら河川敷への坂路の追加整備）		次年度以降調整	WS②	・堤防坂路の改良→見晴公園協もやって欲しいです。
						WS②	・土手を超える道はここだけではない。上流・下流の道は整備できないか？
						WS②	▲新体育館のデザインにより土手沿い一方通行路がどのように変更になるかが重要であるが河川敷への車侵入路 （坂道）は2ヶ所（上流・下流）必要
						WS②	・万平公園の歩道橋のある道から土手に上げる坂路をつくる
						WS②	・坂路を整備（荒川緑地運動広場4の下流）
						WS①	・坂路が少なく拡張してほしい
						WS①	・アクセスが悪い〔・もう1つ明確な坂路ががあるとよい、坂路の入口に標識をつくる、新しく坂路を作る際はス ムーズに出入りできるように〕
						WS②	・車両の出入りを荒川大橋からに。荒川大橋付近に駐車場。
						WS②	・荒川大橋から河川敷へ車を導入。いいアイデア！
						WS②	・荒川大橋から左折で入る坂路。大通りなので住宅街を通らない
						WS②	・土手を超える道　中央　下流　上流　を整備したい
						WS②	▲南大通りの混雑。大麻生の方から車を入れられないか？
						WS②	▲車で来る人が多いのでは。駐車場は河川敷。土手坂車道の充実
						WS②	・大麻生公園の方からゴルフ場と川の間の道を整備してそこから駐車場へ行かせる
						WS②	・駐車場への道が長ければ長いほど渋滞しないので緑地の中を走らせてほしい

表4.1 論点4 活動の展開に関する意見まとめ（スポーツ健康文化交流ゾーン）

計画書に載せる情報									
※完成形堤防での整備を想定									
役割	取組内容（案）	場所	必要な施策 （凡例）青：ハード施策 ピンク：ソフト施策 黒：今後の課題、留意点など	実施 主体	かわまちづくり計画に記載する項目	意見	意見概要 （凡例）■：関係者ヒアリング・協議会 ■：ワークショップ		
3-1. 荒川の自然・風景を楽しながら気軽に健康づくりやスポーツを楽しむ空間（散歩、ランニング、サイクリング、地域スポーツ） 3-2. スポーツ観戦やイベント開催による地域交流・賑わいの空間 3-3. 市内外の多様な人との出会いと交流を育む憩いの空間	(4)高水敷の利用を充実する環境整備	自由広場 グランド等	②運用方法の最適化の検討（イベント時の坂路の混雑対策、桜木小学校前坂路の時間制限の解除等）	市	次年度以降調整	WS①	▲利用のための坂道の混雑〔見晴町側の坂路は管理されておらず（常に開放）、混雑している、桜祭りの時、桜木小側の駐車場が有料だからと、見晴側から入る人がいて機能していない、桜木町側の斜路が狭い、〕		
			③花見利用を考慮した堤防坂路の配置の検討	市	次年度以降調整	WS②	・V字型の坂路をI字形に変えるなら桜木小前の坂道についても時間の制限を外して欲しい。		
			⑩ 5) スポーツ施設・広場等の維持・充実、ドッグランの整備	市	ハード施策（案）	ヒアリング	▲歴史あるラグビー場であり、ラグビー協会からどちらも残してほしいと要望があった。		
						ヒアリング	▲ラグビー場のあり方は、荒川堤防の将来計画を踏まえる必要がある		
						ヒアリング	・河川敷にドッグランがあると良い		
						ヒアリング	・ドッグランが欲しい〔・ドッグランは熊谷にはない・犬を放している人がいる・ドッグランと駐車場の併用〕		
			①ニーズを踏まえたスポーツ施設の充実	市	次年度以降調整	WS②	・お年寄もスポーツできる自然を活かした常設のマレットゴルフコースの設置		
						ヒアリング	・スケートボード、フットサル、テニスコートの整備		
						協①	・参考事例 千代田地区のようなスケートボードパークの整備は可能か？		
			②子供の遊び場機能の充実 ・河川敷地内で設置可能な公園遊具の検討（洪水時に撤去可能な遊具等） ・安全性に留意した親水公園の検討	市	次年度以降調整	ヒアリング	・小さな子供が遊べる遊具があると良い		
						ヒアリング	・まち中の大きな公園として、子供イベント広場のような空間があると良い（ニーズがある）		
						WS①	・多世代が交流できる空間の創出（公園等）		
						WS①	・ピクニック→トイレ・手洗い[ピクニックができる施設、場所としてほしい]		
						ヒアリング	・子供が安心して使えるしっかりとしたトイレがあると良い。		
						ヒアリング	・ベビーカー等で徒歩で移動する主婦層が利用する広場を駅から近い配置にすると良い		
						WS①	・公園遊具の充実〔・小学生の遊ぶ場所、遊具がない（荒川公園）〕		
						WS①	・河川敷内については遊具などのセットを置くのか。		
						ヒアリング	・夏場水辺で親子連れが自然と遊べる空間ができると良い（小さな川、噴水、プール等の水遊びができる公園）		
						WS①	・子育て世代が遊べる広場（特に公園）[子供がふれあえる親水スペースを整備してほしい、子育てしている世帯を考慮し、子供と触れ合える親水公園のようなスペースがあると良い。 今の荒川は川の流れが速く遊べない。]		
						③多様な利用に配慮した空間のつかい方の検討（スポーツ利用等の既存の利用との共存に留意）	市	次年度以降調整	ヒアリング
			ヒアリング	・子どもの遊ぶ空間とスポーツをする空間を分けると良い。直射日光対策（屋根）があると良い					
			ヒアリング	・ラグビー場（有料）は、ラグビー場としての価値を保つ観点から一般利用は難しい。					
			ヒアリング	・無料の自由広場については可能性として考えられる。					
			次年度以降調整	WS①	・河川敷のグラウンドは利用スポーツ団体のヒアリングが必要〔・現状土手沿いに駐車しており、ボールがぶつかったときにどうするか〕				
				WS①	▲グラウンド利用者が使いにくくならないように				
				WS②	▲「あそびのひろば」のためにサッカーとかの今の利用者をしめださないで				
				WS②	・河川敷のエリアは限られているので、多目的に使える場所を増やす。「ソフトボールはソフトボールのみ」とか。				
	④新たな魅力づくり ・桜の季節以外の花の植栽、若者たちのデートスポット・イベントやスポーツ以外の魅力 ・新市民体育館と連携した民間サービスの誘致（キッチンカー、カフェ）による休憩機能の充実	市	次年度以降調整	ヒアリング	・桜の季節以外に咲く花を植えたらどうか				
		市	次年度以降調整	WS①	・若者たちのデートスポットになるような魅力的な場所へ期待[高水敷をデートに利用できるスポットにしてほしい]				
	協①			・桜祭り、花火以外に河川敷に来る機会がないのでイベントやスポーツ以外に訪れたいと思う事があると人が増えると思います。					
(5)地域交流・健康づくり、スポーツイベントの開催	自由広場 グランド等	E) 地域交流・健康づくり、スポーツイベント活動の充実 ①多様なイベント利用の充実（実施体制、実施メニューの具体化）	市・○	次年度以降調整	ヒアリング	・自転車関連イベントの誘致による集客			
					WS①	・犬のアジリティ大会			
					WS①	・マルシェ[「6月ごろに仲間内でマルシェをやりたい」と話していた。イベントが開催しやすい計画としてほしい]			
					WS①	・文化的な（コンサート利用）利用も配慮されたい。（機材の管理も含めて）			
					WS①	・ロックフェスをしてほしい。〔高水敷でのイベント（ロックフェス）を実施することで、にぎわいを創出、騒音に配慮し右岸での実施〕			
					WS②	・スポーツでは障害者用の種目を取り入れる			
					WS②	・基本イイネです。南岸ではエアプレーンが行われていたが今は？今度はドローンでも。			
					WS②	・地元のスポーツ選手を呼んだスポーツ教室（ラグビー、サッカー、野球 etc.）			
					WS②	・イモ煮会でもいいですか？（山形風）			
					WS②	・期間（夏休み）限定でもいいので花火ができるといいと思います。			
					②イベント開催時のルール of の検討（火の利用）	市・○	次年度以降調整	WS②	・期間（夏休み）限定でもいいので花火ができるといいと思います。
								③イベント開催の支援の仕組み・地域連携の検討	市・○
		ヒアリング	・イベント企画は、既存の地域団体の活動と連携すると良い						
ヒアリング	▲市民体育館＋荒川公園の場合全体を見渡せるためイベント管理がしやすいが、荒川緑地は堤防があり見渡せないことからイベント管理がしづらい。								
WS②	・河川敷の利用に市民団体も参加していく								
WS②	▲いろいろなソフトサービスの運営をどの様に行うのか懸念								
WS②	・「ボランティア」と「市」と一緒に管理していくシステムを考えたい								

※完成形堤防での整備を想定

表4.1 論点4 活動の展開に関する意見まとめ（スポーツ健康文化交流ゾーン）

計画書に載せる情報								※完成形堤防での整備を想定
役割	取組内容（案）	場所	必要な施策 （凡例）青：ハード施策　ピンク：ソフト施策 黒：今後の課題、留意点など	実施 主体	かわまちづくり計画に記載する項目	意見	意見概要 （凡例）■：関係者ヒアリング・協議会　■：ワークショップ	
3-1. 荒川の自然・風景を楽し ながら気軽に健康づくりやスポ ーツを楽しむ空間（散歩、ランニ ング、サイクリング、地域ス ポーツ） 3-2. スポーツ観戦やイベント開 催による地域交流・賑わいの空 間 3-3. 市内外の多様な人との出会 いと交流を育む憩いの空間	(5)地域交流・健康づく り、スポーツイベントの開 催	自由広場 グラウンド等	②イベント開催時のルールの検討（騒音、ゴミ、火の利 用等の周辺の住環境保全と賑わい創出の両立、夏場の暑 さ対策）	市・〇	次年度以降調整	ヒアリング	▲イベント時の音響による住環境への影響への懸念	
			④イベント時の車渋滞対策、歩行者等の動線計画			WS①	・まちとの一体的な整備とのことですが周辺の住環境には十分な配慮をして欲しいです	
						WS①	・周辺を保ちながらモラル・ルールづくり	
						WS①	▲駅から土手は住宅街であり、静かな環境であるので、賑わう事による悪化を不安に思う。	
						WS②	▲体育館、公園、河川等のイベント時に近隣住民宅へ通行許可証を発行する。住民サービスを向上させる。	
						WS②	▲体育館、かわまちづくり計画は色々あるが基本的に車、交通アクセスが悪すぎるのが心配。混み合うと住民は 迷惑です。もっと住民の意見を細かく聞くべき。商業地域ならこまかく住宅地であることを考えてほしい。	
	⑤多様な利用に配慮したイベントの充実（インクルーシ ブメニュー、バリアフリー教育活動との連携）	⑥河川敷地内の市民参加型の維持管理体制の検討（清 掃、除草、防犯活動等）	市・地域・ 環境団体	次年度以降調整	WS②	・河川内トイレをきれいに		
					WS②	▲土堤の草刈りで道路幅は確保できる		
	WS②				・このエリアの（河川敷）草刈り回数を増やす			
	(6)官民連携・市民協働に よる公園機能の充実と維持 管理体制の構築	いきいき広 場、自由広場 等	1) 緑陰の維持・充実 (いきいき広場)	市	次年度以降調整	ヒアリング	・河川敷地内の高木の木陰を活かした涼める場所を作ったらどうか。	
						WS①	・大木があり日影が多いので整備（いきいき広場）〔・整備したらもっと使える〕	
			C)公園機能を充実する民間事業者の占用の誘致 (アウトドア用品・運動遊具貸し出し、バーベキュー場 の運営等)	—	いきもの広場にハード施策は計画していな い	WS①	・開発した時ハクビシンやタヌキが住宅街に来ないか　〔・ハクビシンやたぬきが町の中に入ってくるので、　木 を切らずに生息場所を残してほしい〕	
							ヒアリング	・有料バーベキュー場ができると市民に喜ばれると思う。
							ヒアリング	・手軽なアウトドアが楽しめる施設があると良い
							ヒアリング	・バーベキューのニーズは非常に大きく、問い合わせも多い。
							ヒアリング	・近隣の方が納得できるルールに準じたバーベキュー利用ができると良い。
							ヒアリング	・バーベキュー場や花火ができる場所があると良い。しかし、制限が厳しいと利用しづらいため、エリアとして 利用可能範囲を区画すると良いと思う。
							WS①	・バーベキュー場を作ってほしい〔市街からも人が集まる様な整備（堤内に管理所）〕〔・嵐山のバーベキュー 場は、管理者の管理のもと運営されている。トイレもある。〕〔・バーベキュー場にキャンプ場も併設されてい ると、人が集まるのではないか。〕 〔・バーベキューの洗い物は土手の外でやるなど、管理者の指示のもと、川を汚さないように、手く運営されて いる。〕
							WS②	・家族や仲間とふれあえるバーベキュー場の開設
							WS②	・ピクニックやバーベキュー等、道具のレンタルがあればいいと思います。
							WS②	・ワンドで魚のつかみどりができたり、近くにバーベキューできる場が欲しい
			①イベント施設配置のルールの検討（貸出サービス・保 管含む）	市	次年度以降調整	WS②	▲「ピクニックひろば」にハンモックや遊び道具を色々置かないで。自分のしたいことは自分で！	
						②民間事業者による占用・有料サービス提供・管理体制 の検討	市・〇	次年度以降調整
			ヒアリング	▲バーベキューを許可するのであれば、騒音やゴミのポイ捨てが懸念されるため、BBQのルール決めを行い、行政 で管理する必要がある。				
			ヒアリング	▲バーベキュー場の設置はゴミの問題が懸念される。過去にコアジサシの巣が破壊されることもあった。				
			協②	・スポーツ健康文化交流ゾーンでは、スポーツが整備内容としてあがっているが、学校でテント（キャンプ）泊 を実施している。BBQも整備内容に上がっているとのことなので、アウトドア系の民間サービスを誘致すると良い のではないかと				
			WS②	・バーベキューエリア（有料）				
			WS②	・バーベキューは特に必要です。車は有料で。				
WS②			・バーベキューの施設ができたら後片付けをきちんと出来るように有料で。					
WS②			・河川敷に正規有料制のBBQエリアを設置（例）川崎市・東京北区					
(7)「駅」と「かわ」と 「まち」の移動を安全、快 適、楽しいアクセス環境の 整備			堤内地（熊谷 駅周辺）	1)周辺まちづくり計画と連携した歩行者等、自転車、自 動車の動線計画 2)自動車交通量の増加や駐車需要の増加に対応した周辺 道路の交通環境の整備（道路・駐車場） 3)熊谷駅南口から新市民体育館前を通り、荒川にアクセ スする歩行者動線の整備（人中心のウォークアブルな空間 整備、シェアモビリティ、楽しむ移動） ①自動車、自転車、歩行者の動線計画の検討	市	次年度以降調整	協①	・車の流れ、イベント開催時の渋滞対策
	WS①	▲車の往来で交通事故が心配　〔活用　車と人の動線を考えた整備〕						
	WS②	・特に体育館のイベント時、桜祭り、人の安全確保。遠くの坂路から体育館まで河川敷で車を走らせる場合は特に						
	WS②	・河川敷、体育館の利用者増加が見込まれるので車と人のアクセスを良くする必要がある						
	WS①	・周辺とのアクセスを確保して欲しい[南からも北からも動線が確保されていないため、人が集まりづらい]						
	WS②	・体育館のイベント時、桜祭りのイベント時、通常時と人と車の動き、流れが違うと思うのでそういった状況に 応じた計画を考えていただきたいと思います						

表4.1 論点4 活動の展開に関する意見まとめ（スポーツ健康文化交流ゾーン）

計画書に載せる情報							
※完成形堤防での整備を想定							
役割	取組内容（案）	場所	必要な施策 （凡例）青：ハード施策　ピンク：ソフト施策 黒：今後の課題、留意点など	実施 主体	かわまちづくり計画に記載する項目	意見 （凡例）■：関係者ヒアリング・協議会　■：ワークショップ	意見概要
3-1. 荒川の自然・風景を楽しみながら気軽に健康づくりやスポーツを楽しむ空間（散歩、ランニング、サイクリング、地域スポーツ） 3-2. スポーツ観戦やイベント開催による地域交流・賑わいの空間 3-3. 市内外の多様な人との出会いと交流を育む憩いの空間	(7)「駅」と「かわ」と「まち」の移動を安全、快適、楽しむアクセス環境の整備	堤内地（熊谷駅周辺）	②荒川公園から河川敷までの連続した賑わい創出の検討、人中心でウォーカブルな交通環境の充実	市	次年度以降調整	ヒアリング	・荒川公園から河川敷まで連続した賑わいを創りたい
						ヒアリング	・駅からかわまちまでの歩行者動線が重要(該当箇所：c)
						協①	・人の流れ。駅から河川敷地までのルート検討。
						WS①	・熊谷駅南口から体育館荒川公園と共ににぎわい創出を考えかわまちに対して、歩道整備をしてほしい（再掲）
						WS②	▲歩行者のみの広いメインストリートを作る。駅→メイン会場
						WS②	・駅からの車のアプローチはNG。人間のみ。車を遠くから導いていく案ですめたい
						WS②	▲ムラサキ（熊谷駅からのアクセス路）は歩行者のみ。車は駅からはなれたところから進入。
						WS②	▲車の坂路は駅から遠く
			③駅から堤防までのペDESTリアンデッキ整備の検討	市	次年度以降調整	WS②	・熊谷駅南口より歩行者優先
						WS①	・駅から堤までペDESTリアンデッキでつなぐ
						WS②	▲歩く動線の確保→ペDESTリアンデッキ
						WS②	▲駅からのアプローチはペDESTリアンデッキで入れるのか？
		堤内地（熊谷駅周辺）	④周辺まちづくり計画と一体的な計画検討（駅南口エリアまちづくり、荒川公園周辺再整備計画、かわまちづくり）	市	次年度以降調整	WS②	・動線、熊谷駅南口駐車場（秩鉄所有地）に高層階建築物を建て大宮駅西口のように新体育館までをペDESTリアンデッキで結ぶ導線
						WS②	・交通手段としてのシェアサイクルの活用はどうか？
						ヒアリング	・かわまち、南口エリア、北口エリアの一体化（歩行者動線）する視点が重要(該当箇所：d)
						ヒアリング	・熊谷駅南口エリアのまちづくりとの連携が必要（荒川公園、新体育館、図書館、文化会館等）(該当箇所：c)
			⑤荒川公園再整備計画と連携した熊谷駅南口から新市民体育館前の自動車・歩行者アクセス路の検討	市	次年度以降調整	協①	・荒川公園周辺再整備計画との連携の具体策がほしい。
						協①	・市民体育館周辺整備との関わり方連携等。
						協①	・南口の開発、体育館の建設と一体となってまちづくりを進めることで利便性が増す。連携が必要。
						WS①	・駅⇄体育館⇄かわまち　この構想（一体として）を期待したい（再掲）
						WS①	・エリア明確化（荒川公園南口整備との区分）〔3つの計画の横の連携〕（再掲）
						WS①	・他プロジェクトとの連携によるまちづくり体系、作戦　〔・さいたま新都心の様に駅前、再開発と合わせた整備（他のプロジェクト）を参考にした整備を。〕
						WS②	・A案　大きな駐車場が確保できる
						WS②	・A案+大型バス入口
						WS②	・A案がいいと思う（合理的）
						WS②	・A案　駐車場が他の案よりも大きくて体育館利用車に便利だと思った。公園の範囲がせばまるのは少し残念
						WS②	▲A案　新体育館のために公園をつぶすのは反対
						WS②	▲B案　道をなくすのは不便
						WS②	・C案　河川敷まで通す。今のままで。
						WS②	・C案　駅より専用歩道橋がほしいです
						WS②	・A案B案あり得ないC案も賛成ではないが道を考えればC案の道路計画が一番かと思う
						WS②	▲C案　荒川公園に一部かかるのは反対。道の動線は良いと思う
						WS②	▲A案　B案　C案　公園を小さくして箱物を作るのは自然破壊では？　道をつぶさないで
						WS②	・車と人の動線と分離する意味で3案とも坂路は危険。花見客が土手の上で横断しなくてはいけない
						WS②	▲体育館、公園、河川等のイベント時に近隣住民宅へ通行許可証を発行する。住民サービスを向上させる（再掲）。
						WS②	・大型車両の入口（荒川緑地運動広場4付近）
						WS②	▲公園と木々を守って
						WS②	▲渋滞の元凶（市民体育館前の道路）
						WS②	▲公園内Pの入口は木が切られてしまう。住宅街で危険
		堤内地（対岸エリア）	⑥対岸エリアへのアプローチは、将来エリアを対岸に拡大する際に検討	市	次年度以降調整調整	WS①	・村岡緑地橋かけて往来できる様　散歩コースとして
						WS②	・歩きで対岸に渡れる橋があると良い
						WS②	・かつては（花火大会時）小舟で南岸まで渡った。小舟を並べて歩道にしてはどうか？

表4.2 論点4 活動の展開に関する意見まとめ（自然環境保全・環境学習ゾーン、水辺の憩いゾーン、歴史文化体験ゾーン）

計画書に載せる情報								
役割	取組内容(案)	場所	必要な施策 (凡例) 青：ハード施策 ピンク：ソフト施策 黒：今後の課題、留意点など	実施主体	かわまちづくり計画に記載する項目	意見	意見概要 (意見凡例) ■：関係者ヒアリング・協議会 ■：ワークショップ	
1. 身近な自然の保全・生物多様性を高める空間	(1)荒川中流域の自然環境の特性を踏まえた、生物多様性を高める空間整備	水辺・低水護岸	⑭ 1)多自然護岸＋捨て石設置（生き物の生育環境の充実） ・多自然護岸（覆土）、捨て石設置により、土砂が自然堆積し、在来種による水際環境（エコトーン）の形成を促し、河川の生物の生息・生育・繁殖の場の充実を図る ①河川敷エコ利用ゾーン（自然環境20%維持）に留意する	国	次年度以降調整	ヒアリング	▲当計画箇所は「河川敷エコ利用ゾーン」であり、自然環境が20%維持する計画となっていた。	
			②希少種の有無に関わらず、開発に伴う生物の生息空間への影響に留意する	国	次年度以降調整	ヒアリング	▲希少種の有無に関わらず、生物が生息できる空間を削ることにに対し慎重に検討してほしい。	
			③堤防整備における緑地に対する在来野草の保全措置の検討		次年度以降調整	協①	・方針1-3自然環境、風景の具体策について荒川緑地の範囲内において「かわまちづくり事業」の一環として自然再生整備が望ましいエリアがあります。	
					④自然環境の保全に留意する（水際の樹木の保全、礫河原の保全）	次年度以降調整	協①	・荒川緑地の下流側の坂路周辺の自然再生整備が望ましい。
							協②	・荒川緑地再整備駐車場までとなっているが、駐車場下流のエリアについては、空地となっているので、そこをターゲットとして、自然創出とすると良いのではないか。
				ヒアリング	▲堤防拡幅時には既設堤の在来野草を盛土表面に移植する等、環境に配慮が必要			
					ヒアリング	▲面的な整備等をするにあたっては、自然環境保全団体の意見を踏まえ、自然環境保全に配慮する必要		
					ヒアリング	▲水際の樹木の保全が必要（上下流の環境の連続性から重要な位置づけであり、軽視しないほしい）。		
					ヒアリング	▲礫河原の保全が重要（「明戸サイホン〜久下橋」はコアジサシの生息域として最も適した場所であり、礫河原を守ってほしいという要望を30年以上前に発信している。）		
2-1. 地域の自然環境学習を充実する空間 2-2. 将来の環境を守り育てる担い手づくり	(1)自然環境の保全に配慮し、子供たちが安心して自然と触れ合える水辺空間の整備 (2)自然学習イベントの開催支援 (3)地域の環境保全活動の開催支援	水辺、低水護岸	1) 散策路（舗装無し）＋階段（低水護岸）の整備（子ども等の水辺利用の安全確保に必要最小限の整備） H) 荒川及び河川敷地の豊かな自然環境の保全、創出を目指す環境学習活動の充実（学校連携、市民参加）	国（階段）	ハード施策	ヒアリング	・学童の自然学習・体験の場の保全	
				市（散策路）		協①	・自然環境を学ぶという点において手軽に安全に学べるポイントが少ないので整備が必要と考えます。	
						市・学校・環境NPO団体	ヒアリング	・暑い夏場に子供が川で水遊びできる環境、魚を捕まえる等の自然との触れ合いが出来る環境を整備して欲しい。
				市・埼玉県立博物館			ソフト施（案）	WS②
			WS①		・ダッシュ 河川 漁取り			
			その他	①自然学習イベントの充実（実施体制、実施メニューの具体化）※学校連携、埼玉県立博物館との連携など ②エリア内の環境に配慮した維持管理のルールづくり（除草剤等） ③熊谷市ムサシトミヨ保護センターで実施する自然学習イベントとの連携	市	次年度以降調整	ヒアリング	・河原の石に関する自然学習で埼玉県立博物館との連携がとれるのではないか。
		市				次年度以降調整	ヒアリング	・荒川の水辺の自然を活かした学校連携の可能性（国の水生生物調査、水辺の楽校）
		市				次年度以降調整	WS②	▲「環境学習」のゾーンはコイの繁殖地でもあるので自然破壊しないよう注意して ▲「環境学習」のために自然破壊しないで。（コイの繁殖他）
		市				次年度以降調整	WS②	▲強い除草剤を使わないで。木まで枯れてしまう
		1. 地域防災力を高め、水辺の安全利用を周知する地域活動を支援する空間	(1)地域の防災活動や川の安全な利用の普及活動を行うための環境整備 (2)防災活動や川の安全な利用の普及活動に係る地域活動の支援	低水護岸	⑬ 1)親水護岸（階段式護岸による水辺へのアプローチの整備）	国	ハード施策	－
G)川の安全な利用の普及活動の充実 ①川の安全な利用のためのルールや川の危険情報の周知、子どもへの安全教育の充実	市・〇				次年度以降調整	ヒアリング	・河川の危険性を理解する場として活用できると良い	
	国				次年度以降調整	協②	▲釣りやSUPのメニューは魅力があるが、学校では水難事故の懸念から、子供たちだけで水辺に近づかない様に指導している。どうすれば安全に川で遊べるようになるのか考える必要があるのではないか。	
2-1. 荒川の水辺を眺め・やすらぎや涼を感じられる憩いの空間 2-2. 安全性や環境配慮に留意したアウトドアや健康づくりを楽しむ空間	(1)水辺の眺望や夏場の涼を楽しむ水際の環境整備 (2)水辺のアウトドアの環境整備 (3)水辺の涼を感じながら楽しむイベント等の開催支援	水辺・低水護岸	⑫ 1)水辺の散策路の整備 ①散策路の安全対策（転落防止） ②散策路の快適性の確保（夏場の暑さ対策、歩きやすさや景観に配慮した舗装材の検討） ③環境に配慮した親水護岸構造の検討	市	ハード施策	WS①	・川とふれあう遊歩道をこのエリア約100Mの緑地に作る（川が見えない。河川沿いに親水空間がほしい、全区間で作ると危ないので100mだけでも川を感じられる親水空間（遊歩道）ができると良い。）	
						WS②	・子供も老人も安全に清涼感のある散歩が楽しめるという	
						WS②	・水辺の散策路は欲しいです。水辺利用の工夫（水に入る事ができるのか）	
						WS②	・水辺の散策路は楽しみにしている。	
						WS②	・水辺の散策路を実現して下さい。	
						ヒアリング	・河原沿いを歩ける転落防止にも配慮した遊歩道があると良い	
						WS①	・木かげのある遊歩道・河側の木陰が足りない	
						WS②	・ランニングコースを作してほしい	
			⑬ 2)親水護岸および捨て石の設置（川の流れを弱める） ・捨て石による治水、親水機能充実の効果 捨て石を設置することで、分流水路の流速を軽減し護岸への侵食を軽減するとともに、平常時の滞筋を河道中央へ誘導する ・捨て石による環境、生物多様性の充実の効果 捨て石の上流側に土砂が堆積し、在来植生による水際環境（エコトーン）の形成を促し、河川の生物の生息環境の充実を図る ①環境に配慮した親水護岸整備の検討 ②子供の安全な利用、河川の生き物との触れ合い、レジャーができる空間の検討	国	ハード施策	WS②	▲水辺の散策路は暑くて歩けない。ワンドや川遊びに行くため川沿いは車道＋駐車場が良いのではないか	
						WS①	・親水広場が欲しいです。[遊びの要素がない。河川とふれ合う空間。ウォーキングできる場所があると良い・レジャーでできる様な水辺空間がほしい（カヌー等） ・子供が遊べる場所がほしい]	
						WS①	・子育て世代が遊べる広場（特に公園）[子供がふれあえる親水スペースを整備してほしい、子育てしている世帯を考慮し、子供と触れ合える親水公園のようなスペースがあると良い。 今の荒川は川の流れが速く遊べない。]（再掲）	
						WS①	・川遊び 【・親水の場所が欲しい】	
						協①	・水辺の魅力の充実。例：釣り・涼	
						WS①	・飯能河原のような本流から引き込んだ浅瀬で親水ができるか	
		WS②				▲水辺利用の安全性を確保してください		
		次年度以降調整	WS②	▲水辺の多いゾーンに白鳥が来るので開発しないで。ハクビシン、たぬきもいる				
			WS②	▲「親水公園」は狭いとうまくいかない。「嵐山河原」「飯能河原」みたいに広く自由にしたい。				
			ヒアリング	▲親水施設整備の検討にあたり、荒川の河川特性（水辺の安全性）を踏まえる必要、利用者の十分な安全対策が重要である				
			ヒアリング	▲川が護岸に迫っているところは人が近づくのは危険であり、現状をどうするか検討する必要がある。				
			協②	▲幼児（保育所）が遊びに来ていたりする。安全に遊べる空間整備が望ましい。				
			協②	▲河川の滞筋が護岸に寄っている場所で、水の流れが速く水深が深いことから水辺利用のスペースの確保が難しいことから、どのように安全性を確保しながら空間を確保することが今後の検討課題ではある。				

47

表4.2 論点4 活動の展開に関する意見まとめ（自然環境保全・環境学習ゾーン、水辺の憩いゾーン、歴史文化体験ゾーン）

計画書に載せる情報										
役割	取組内容(案)	場所	必要な施策 (凡例) 青：ハード施策 ピンク：ソフト施策 黒：今後の課題、留意点など	実施主体	かわまちづくり計画に記載する項目	意見	意見概要 (意見凡例) ■：関係者ヒアリング・協議会 ■：ワークショップ			
2-1. 荒川の水辺を眺め・やすらぎや涼を感じられる憩いの空間 2-2. 安全性や環境配慮に留意したアウトドアや健康づくりを楽しむ空間	(1)水辺の眺望や夏場の涼を楽しむ水際の環境整備 (2)水辺のアウトドアの環境整備 (3)水辺の涼を感じながら楽しむイベント等の開催支援	水辺・低水護岸	F)川に親しむ水辺のアクティビティイベントの活動の充実 ①水辺の健康・スポーツイベント利用の充実（体制、実施メニューの具体化） ②夏以外の季節も含め、体が不自由な人も含め市民が集まる水辺の魅力の充実 ③遊歩道の安全対策（転落事故防止） ④水辺のアクティビティイベント利用の充実（体制、実施メニュー） C)公園機能を充実する民間事業者の占用の誘致 ①水辺のアクティビティイベントの運営を担う民間事業者の誘致、占有・有料サービス提供・管理体制のルールづくり	市・〇	次年度以降調整	WS①・カヌーカヤック WS①・手こぎボートが週末だけでも出たらいいな（荒川大橋下流は流れがゆるやかなので） WS②・ボート賛成。暑い熊谷ならではの荒川を利用できるスポーツを。				
			②夏以外の季節も含め、体が不自由な人も含め市民が集まる魅力の充実	市・〇	次年度以降調整	ヒアリング・夏に涼める水辺空間や、釣りなどを楽しむ場所にする等、夏も冬も（体が不自由な人を含め）市民が集まる場所になると良い WS②・水辺の憩いゾーン。夏がメインの感じがするので、他の季節も楽しめるような空間だいいと思います。				
			1. 熊谷らしさや人とのつながりを大切にする空間づくりにより、熊谷市への愛着と誇りを育む空間	(1)計画地周辺の中山道等の歴史文化の見どころを繋ぎ、「かわ」と「まち」を繋ぐ回遊ルートの整備 (2)SNSを用いた「かわ」と「まち」をつなぐ情報発信 (3)歴史体験イベントの開催	堤防	I)熊谷桜堤など風景の保全、継承の活動支援 ①熊谷桜堤の保全、継承活動の充実（実施体制、実施メニューの具体化） ②かわまちづくりを通じた熊谷桜堤の魅力の発信、持続可能な保全継承のあり方（目標、保全活動計画、担い手育成、資金調達等）	市・〇	次年度以降調整	ヒアリング・熊谷桜堤は桜百選に指定されており、最新技術を駆使し必ず残してほしい。（再掲） ヒアリング・桜並木は熊谷の大切な財産であり、（その保全）に配慮した計画づくりとしてほしい。（再掲） ヒアリング・▲堤防天端に施設を設ける等した場合、桜堤の景観が損なわれるため、桜堤に影響するような整備は反対である。（再掲） ヒアリング・▲桜並木の保全と堤防拡幅や階段敷護岸の工事の両立を考える必要がある。（再掲） WS①・▲桜並木をこわさないでほしい（再掲） WS①・▲カフェなど作って桜を切らない（再掲） WS②・桜堤を第一に考えてほしいです。 WS②・桜堤の保全。全国桜百選として名所になってほしい WS②・桜の木オーナー制度などでより良い桜並木に。日光で行っている。 WS②・桜の木管理（老木が増えてきた）	
									ヒアリング・荒川公園から河川敷まで連続した賑わいを創りたい（再掲） ヒアリング・かわまち、南口エリア、北口エリアの一体化（歩行者動線）する視点が重要（再掲） ヒアリング・駅からかわまちまでの歩行者動線が重要（再掲） ヒアリング・熊谷駅南口エリアのまちづくりとの連携が必要（荒川公園、新体育館、図書館、文化会館等）（再掲） 協①・人の流れ。駅から河川敷地までのルート検討。（再掲） ヒアリング・熊谷の荒川ならではの魅力の創出が重要 協①・オンリーワン、ナンバーワンとしての魅力づくり 協①・荒川に水車があったのをはじめて知りました。復活したらたのしそうです。 協①・北本市高尾地区のかわまちづくり水辺公園、舟運を模した水路をこどもたちの水あそび場にしている（参考まで）。 協①・歴史に関する魅力の発信。動線はどのようになっているか。 WS①・▲熊谷らしさの4点は、理想であり荒川河川には求めるのは困難と感じる WS①・▲整備方針1-1 熊谷らしさ、つながり河川敷内で作れるものに制限がある。	
市	次年度以降調整	ヒアリング・熊谷の荒川ならではの魅力の創出が重要 協①・オンリーワン、ナンバーワンとしての魅力づくり 協①・荒川に水車があったのをはじめて知りました。復活したらたのしそうです。 協①・北本市高尾地区のかわまちづくり水辺公園、舟運を模した水路をこどもたちの水あそび場にしている（参考まで）。 協①・歴史に関する魅力の発信。動線はどのようになっているか。 WS①・▲熊谷らしさの4点は、理想であり荒川河川には求めるのは困難と感じる WS①・▲整備方針1-1 熊谷らしさ、つながり河川敷内で作れるものに制限がある。								
		市・〇							次年度以降調整	WS②・「桜」や「自然」だけでなく熊谷の歴史をかんじさせて。
		市・〇							次年度以降調整	WS②・安藤野雁（あんどうぬかり）の歌碑があるが俳句を吟じながらのウォークもいいかも
		市							次年度以降調整	ヒアリング・河川の危険性を理解する場として活用できると良い（再掲）
2. 過去の水害の歴史や、治水遺産を学び、災害を自分事化する空間	(1)治水の歴史を学習・体験するイベントの開催 (2)流域治水（上下流の自治体連携）を学習・体験するイベントの開催	自由広場等のオープンスペース	1)情報発信施設（過去の水害の歴史や、治水遺産を解説する案内看板の設置等） K)水災害の歴史、治水遺産の情報発信の充実 ③周辺の歴史資源との連携メニューの具体化	市・〇	次年度以降調整	WS②・歴史文化のサブゾーン 万平公園の活用（旧堤敷） WS②・歴史文化体験ゾーン 万平公園に残る旧熊谷堤を一体にして欲しい				

表4.3 論点4活動の展開に関する意見まとめ（計画の進め方やニーズ把握に関するご意見）

項目分類	意見	意見概要	ご意見への対応
計画の進め方に関するご意見	協①	・市内で進めている道の駅や体育館立て替事業の共通イメージはありますか？熊谷市のブランディングは。	・かわまちづくり計画エリアと新荒川公園修正再整備事業エリアは、市のマスタープランにおいて、新スポーツ・文化・健康拠点注1に位置付けられています。本拠点の土地利用方針を共通の方針としています。
	協①	・参考事例はわかりやすい。ここに熊谷の強みとニーズをのせていきたい。	また、目指す熊谷らしさについて、市民アンケート、市民ワークショップ意見を踏まえ設定し、本計画の基本方針（整備方針1-1）に掲げています。
ニーズ把握に関するご意見	WS①	・利用者に今のままで良いか、駐車場や運動広場をどのように変えてほしいかヒアリングしたらどうか	・令和5年度にヒアリング調査やアンケート調査を実施し、利用している関係団体へのヒアリング、一般利用者のニーズ調査を行い、頂いたご意見を踏まえた内容としています。
	協①	・これから熊谷で育っていく子供たちのニーズも収集していくとよいのでは。	・令和6年度に実施したかわまちづくり社会実験において、参加頂いた児童からのご意見として、子供たちのニーズを確認しました。次年度以降、近隣の学校関係者と調整の上、子供たちのニーズ把握を行う予定です。

表4.4 論点4活動の展開に関する意見まとめ（関連部署へ情報共有するご意見）

項目分類	意見	意見概要	ご意見への対応
シェルターに関するご意見	WS① WS②	・シェルター（9か所） ・命守ることを優先（核シェルターの整備）	・貴重な意見として頂戴し、関連する部署に情報を共有します。
荒川公園周辺再整備事業（新市民体育館整備）に関するご意見	WS①	荒川公園の木を切らない	・荒川公園周辺再整備事業に係る内容です。頂いたご意見は主管する部署に情報を共有します。
	WS①	体育館の立てかえ、荒川公園の木などがなくなってしまうのは嫌です	
	WS①	慰霊塔をどうするのか？	
	WS②	荒川河川敷駐車場の利用もあるが限られた土地であるため新市民体育館には併設して立体駐車場を設けるべき（例）高崎アリーナ	
	WS②	体育館の中に駐車場	
	WS②	もし荒川公園の広場をつぶすなら、駅からすぐ近くの所に土の広場（バックネット付）を作してほしい+木陰	
	WS②	浸水（3m未満）の地域なので体育館、公園を3m以上に上げて下を通路にする	

注1）熊谷市マスタープラン 新スポーツ・文化・健康拠点（荒川公園周辺）

◇都市拠点に近接する強みを生かし、市民のスポーツ・文化活動の支援や、交流人口の拡大を図る拠点です
◇「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「ささえるスポーツ」を通じ、地域の誇りを感じる空間です。

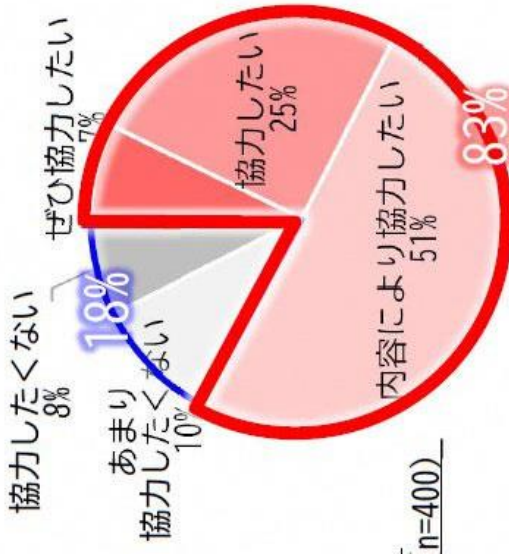
市民・行政協働でのかわまち活動に関連するご意見

Q：魅力ある河川空間の充実や維持のためのイベント開催や維持管理への協力意向

Q 論点4 活動の展開に関するご意見

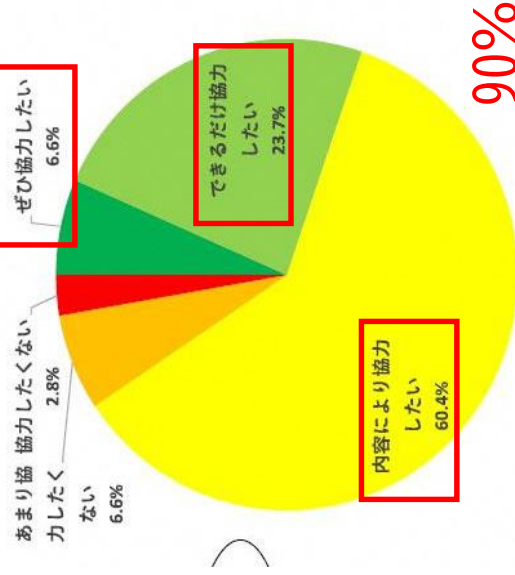
①R5市民アンケート調査

(市民アンケート n=400 (WEB))



②R5市民アンケート調査

(隣接自治会アンケート n=396)



【自由意見 (市民アンケート (WEB))】

- ・ 出来る限り参加したいと考えています。
- ・ ボランティア活動で祭り等の行事を手伝いたい。
- ・ 熊谷市の為なら凄く協力したいです
- ・ ゴミ拾いなどボランティア的な事開催、告知、勧誘
- ・ 業者に頼らず、市民自らが率先して美化運動が出来る環境を実現して欲しい。
- ・ 定期的な美化運動(清掃など)を周辺学校に参加してもらい、地域で環境づくりの重要性を自然と認識してもらおうのが良いと思います。

【自由意見 (隣接自治会アンケート)】

- ・ 雑草刈りについて、最初は市でして頂ければ地区ごとに声掛けにてお手伝いさせて頂きたいと思っています。
- ・ バーベキュー (有料) (管理は地元の自治会、シルバークラブ)
- ・ 野鳥等の保護をしつつ、快適に過ごせ、不法投機など不可能にする整備、管理を官民一緒に進めていくことが一つの方法であると考えます。
- ・ 地域 (市全体、県北全体) を大局的に見つめて行政、事業者と住民が楽しく関わりたいながら、まちづくりができることを期待しています。
- ・ 利用者の意識向上と定期ゴミひろいのイベント開催等検討要。

【市民ワークショップ意見】

- ・ 河川敷の利用に市民団体も参加していく
- ・ 「ボランティア」と「市」と一緒に管理していくシステムを考えたい
- ・ いろいろなソフトサービス運営をどの様に行うのか懸念

【ヒアリング意見】

- ・ 労力がかかる部分を支援してもらええる仕組みが必要
- ・ イベント企画は、既存の地域団体の活動と連携すると良い
- ・ 荒川の水辺の自然を活かした学校連携の可能性 (国の水生生物調査、水辺の築校)
- ・ 自然環境学習ゾーンについて、水辺の生き物調査など、小学校での学習を深められる場、どんな学習ができるか広報できる場となると良い。

- ・ 荒川緑地内の遊歩道の整備やガードパイプの修繕 (塗りなおし) など近隣住民がイベント (ワークショップ) 的にやれるような気がします

▲ 今以上の地域住民の協力や人手をあてにしたイベントや維持管理は絶対にやめて欲しいです。十分に協力してきただけです。

表5 かわまちづくりでの活動（案）

ゾーン区分	ソフト施策（案）	今後の課題、留意点	R6年度 社会実験 実施状況	地域意見			実施主体 （案）	具体メニュー（一例）（青地は地域意見より）	市候補案
				協議会	ヒア リング	市民 ^{注1}			
共通 防災	A)地域の防災活動の充実 （防災訓練、防災学習イ ベント実施）	① 地域の防災活動の充実（実施体制、実施メニューの具体化）	●	○	○	○	市 + 国 地域 学校 ○○	■地域防災イベント利用 （R6社会実験結果を踏まえ、内容充実・対象を拡大） ・川の防災教室、テント張り体験、炊き出し、豪雨体験	
スポーツ健康 文化交流ゾー ン （堤防）	B) 堤防散策の魅力づくり の活動充実（四季を通じ た魅力、見どころ）	① 熊谷らしさの魅力の充実と発信（桜の開花時期（春）以外 の季節 の魅力） ② まちとの連携、まちへ誘う仕掛けづくり	－	○	○	○	市 + 地域 ○○ 民間	■魅力づくり（散策ルート・見どころマップ、サイン、駅とかわまちエリアに誘う歩行者動線、PR活 動、四季を彩る花壇など） ■健康づくり・地域交流イベント利用（中心市街地との連携、健康マイレージ事業との連携、秩父鉄 道サイクルトレインとの連携（荒川上流域との交流）） ・ウォーキングイベント、サイクリングイベント	
	C) 公園機能を充実する民 間事業者の占用の誘致	① 魅力ある休憩拠点運営事業者の誘致、占用・有料サービス提供・管 理体制のルールづくり	－	－	○	－	市 + 民間 ○○	■休憩サービスを提供する民間事業者の誘致（ウォーキングやサイクリングの休憩拠点・荒川を望む カフェ、姉妹都市ニュージーランドのカフェ） ※新市民体育館連携	
	D) 交通安全、防犯対策自 転車の交通ルール・マ ナー周知活動や交通安全 活動充実	① 自転車の交通ルール・マナーの周知活動や交通安全活動の充実 ② 交通安全活動の実施体制、実施メニューの具体化	－	○	○	－	市 + 国 学校 ○○	■交通安全学習イベント利用 ・自転車の交通ルール・マナーの周知活動や交通安全教室開催支援	
	E) 地域交流・健康づく り、スポーツイベント活 動の充実	① 多様なイベント利用の充実（実施体制、実施メニューの具体化） ② イベント開催時のルールの検討（騒音、ゴミ、火の利用等の周辺の 住環境保全と賑わい創出の両立、夏場の暑さ対策） ③ イベント開催の支援の仕組み・地域連携の検討 ④ イベント時の車渋滞対策、歩行者等の動線計画 ⑤ 多様な利用に配慮したイベントの充実（インクルーシブメニュー、 バリアフリー教育活動との連携） ⑥ 河川敷地内の市民参加型の維持管理体制の検討（清掃・除草・防犯 活動など）	●	○	○	◎	市 + 地域 関連団体 民間 ○○	■地域交流イベント利用 （R6社会実験結果を踏まえ、内容充実・対象を拡大） ・食：バーベキュー、ピクニック、マルシェ、キッチンカー、熊谷地場野菜の販売、いも煮会、お祭 り ・遊び、憩い：子供向けイベント（体験）、遊び場づくり（鬼ごっこ、宝さがし、かくれんぼ、イン クルーシブ遊具、健康遊具（ぶらさがり棒）、芝滑り）、水遊び、水辺の生き物触れ合い、・ 動物 園、ドッグラン、犬のアジリティ大会、ドローン、小型飛行機、パラグライダー、パフォーマンス芸 人、のりものなど（子どもが好きなもの）こども、幼児が安全に遊べる芝生広場、お話し会（※図書館 連携）、星空観望会（※プラネタリウム連携） ・文化：音楽イベント（※文化センター連携） ■スポーツ健康づくり利用（健康マイレージ事業、スマートシティ事業、公共交通との連携） ・スポーツ体験イベント、スポーツ教室（ラグビー、サッカー、ドッチボール、アスレチック、野 球、ボルダリング、インクルーシブスポーツ、マレットゴルフ、テニス、ゴルフ、マラソン、）（※ 地元スポーツ選手連携、地域スポーツチーム、自治会クラブ活動、体育館との連携） ・サウナ ■車の渋滞対策（需要調整：健康マイレージ事業、スマートシティ事業、シェアサイクル等のモビリ ティ、公共交通との連携） ■清掃活動 ・清掃活動	○
水辺の憩い ゾーン	F) 川に親しむ水辺のアク ティビティイベント活動 の充実	① 水辺の健康・スポーツイベント利用の充実（体制、実施メニューの 具体化） ② 夏以外の季節も含め、体が不自由な人も含め市民が集まる水辺の魅 力の充実 ③ 遊歩道の安全対策（転落事故防止） ④ 水辺のアクティビティイベント利用の充実（体制、実施メニュー）	－	○	○	◎	市 + 地域 関連団体 民間 ○○	■地域交流イベント利用 ・水辺のウォーキング、マラソン、サイクリングイベント ・夏の涼を楽しむイベント（礪河原で親水、チェアリングイベントなど） ・川遊び、水遊び、水切り体験、行田へのクルーズ船の運航 ■スポーツ・健康づくり利用 ・カヌー、カヤック ・手漕ぎボート ・魚釣り体験	○
	C) 公園機能を充実する民 間事業者の占用の誘致	① 水辺のアクティビティイベントの運営を担う民間事業者の誘致、占 用・有料サービス提供・管理体制のルールづくり	－	－	－	－	市 + 民間 ○○		
	G)川の安全な利用の普及 活動の充実	① 川の安全な利用のためのルールや川の危険リスクの周知、 子どもへの安全教育の充実	●	○	○	○	市 + 国 学校 ○○	■川の安全体験教室利用 （R6社会実験結果を踏まえ、内容充実・対象を拡大） ・川の安全体験教室、川での遊び方、川での注意事項、川の防災	
自然環境保全 環境学習ゾー ン	H) 荒川及び河川敷地の豊 かな自然環境の保全、創 出を目指す環境学習活動 の充実	① 自然学習 ¹⁶ への充実（実施体制、実施メニューの具体化） ※学校連携、埼玉県立博物館との連携など ② エリア内の環境に配慮した維持管理のルールづくり（除草剤等） ③ 熊谷市ムサントミヨ保護センターで実施する自然学習 ¹⁶ への連携	●	○	○	◎	市 + 国 地域 関連団体 学校 ○○	■自然体験・学習利用 （R6社会実験結果を踏まえ、内容充実・対象を拡大） ・自然観察（水生生物調査、野鳥の観察会、水質調査）、PR活動 ・自然観察（草花・昆虫の観察会、畑） ・子供の自然と共に遊べる場として利用（魚釣り・川遊び体験） ・ムサントミヨ保護センターの自然学習との連携 ■清掃活動 ・清掃活動、定期ゴミ拾いのイベント	
歴史文化体験 ゾーン（堤 防）	I) 熊谷桜堤など風景の保 全と継承の活動の充実	① 熊谷桜堤の保全、継承活動の充実（実施体制、実施メニューの具体 化） ② かわまちづくりを通じた熊谷桜堤の魅力の発信、持続可能な保全継 承のあり方（目標、保全活動計画、担い手育成、資金調達等）	－	－	○	◎	市 + 地域 関連団体 学校 民間 ○○	■桜堤の保全活動 ・維持管理活動（観察、施肥、水やり、除草、根の保護柵、害虫駆除・予防、落ち葉清掃、樹名板づ くり） ・桜堤の保全継承の計画づくり ・ボランティア養成 ■桜堤の魅力のPR活動と資金調達 ・桜の木オーナー制度、ふるさと納税型クラウドファンディングなど	
歴史文化体験 ゾーン（まち との連携）	J) 歴史資源を活用したま ちとの連携の活動充実 K) 水災害の歴史、治水遺 産の情報発信の充実	① 歴史資源に関する魅力の発信 ② 歴史や文化を学ぶ歴史散策ルートやイベント利用の充実（実施体 制、実施メニューの具体化） ③ 周辺の歴史資源との連携メニューの具体化 ④ まちとの連携、まちへ誘う仕掛けづくり（再掲）	－	○	○	○	市 + 地域 関連団体 学校 民間 ○○	■歴史散策イベント利用 ・渡しの歴史（舟渡体験）、治水遺産（万平公園旧熊谷堤）、中山道の歴史 ・歴史資源周遊ルートづくり ・歴史解説ボランティア養成 ■かわとまちをつなぐイベント利用 ・南口まちづくり、星川との連携、熊谷染め、雪くまなど荒川に係る歴史資源を活かす連携	○

市民意見：ワークショップ意見、社会実験アンケート（10/6、10/2）、R5市民アンケート（WEB・自治会）（◎：意見が複数あった項目、－ 51 －があった項目、－：意見のなかった項目）

表5 かわまちづくりでの活動（案）

ゾーン区分	ソフト施策（案）	今後の課題、留意点	R6年度 社会実験 実施状況	地域意見			実施主体 （案）	具体メニュー（一例）（青地は地域意見より）
				協議会	ヒア リング	市民 ^{注1}		
スポーツ健康文化交流ゾーン （高水敷）	E) 地域交流・健康づくり、スポーツイベント活動の充実	① 多様なイベント利用の充実（実施体制、実施メニューの具体化） ② イベント開催時のルールの検討（騒音、ゴミ、火の利用等の周辺の住環境保全と賑わい創出の両立、夏場の暑さ対策） ③ イベント開催の支援の仕組み・地域連携の検討 ④ イベント時の車渋滞対策、歩行者等の動線計画 ⑤ 多様な利用に配慮したイベントの充実（インクルーシブメニュー、バリアフリー教育活動との連携） ⑥ 河川敷地内の市民参加型の維持管理体制の検討（清掃・除草・防犯活動など）	●	○	○	◎	市 + 地域 関連団体 民間 ○○	■地域交流イベント利用 （R6社会実験結果を踏まえ、内容充実・対象を拡大） ・食：バーベキュー、ピクニック、マルシェ、キッチンカー、熊谷地場野菜の販売、いも煮会、お祭り ・遊び、憩い：子供向けイベント（体験）、遊び場づくり（鬼ごっこ、宝さがし、かくれんぼ、インクルーシブ遊具、健康遊具（ぶらさがり棒）、芝滑り）、水遊び、水辺の生き物触れ合い、・動物園、ドッグラン、犬のアジリティ大会、ドローン、小型飛行機、パラグライダー、パフォーマンス芸人、のりものなど（子どもが好きなもの）こども、幼児が安全に遊べる芝生広場、お話会（※図書館連携）、星空観察会（※プラネタリウム連携） ・文化：音楽イベント（※文化センター連携） ■スポーツ健康づくり利用 （健康マイレージ事業、スマートシティ事業、公共交通との連携） ・スポーツ体験イベント、スポーツ教室（ラグビー、サッカー、ドッチボール、アスレチック、野球、ボルダリング、インクルーシブスポーツ、マレットゴルフ、テニス、ゴルフ、マラソン、）（※地元スポーツ選手連携、地域スポーツチーム、自治会クラブ活動、体育館との連携） ・サウナ ■車の渋滞対策 （需要調整：健康マイレージ事業、スマートシティ事業、シェアサイクル等のモビリティ、公共交通との連携） ■清掃活動 ・清掃活動
水辺の憩いゾーン	F) 川に親しむ水辺のアクティビティイベント活動の充実	① 水辺の健康・スポーツイベント利用の充実（体制、実施メニューの具体化） ② 夏以外の季節も含め、体が不自由な人も含め市民が集まる水辺の魅力の充実 ③ 遊歩道の安全対策（転落事故防止） ④ 水辺のアクティビティイベント利用の充実（体制、実施メニュー）	－	○	○	◎	市 + 地域 関連団体 民間 ○○	■地域交流イベント利用 ・水辺のウォーキング、マラソン、サイクリングイベント ・夏の涼を楽しむイベント（礪河原で親水、チェアリングイベントなど） ・川遊び、水遊び、水切り体験、行田へのクルーズ船の運航 ■スポーツ・健康づくり利用 ・カヌー、カヤック ・手漕ぎボート ・魚釣り体験
歴史文化体験ゾーン （まちとの連携）	J) 歴史資源を活用したまちとの連携の活動充実 K) 水災害の歴史、治水遺産の情報発信の充実	① 歴史資源に関する魅力の発信 ② 歴史や文化を学ぶ歴史散策ルートやイベント利用の充実（実施体制、実施メニューの具体化） ③ 周辺の歴史資源との連携メニューの具体化 ④ まちとの連携、まちへ誘う仕掛けづくり	－	○	○	○	市 + 地域 関連団体 学校 民間 ○○	■歴史散策イベント利用 ・渡しの歴史（舟渡体験）、治水遺産（万平公園旧熊谷堤）、中山道の歴史 ・歴史資源周遊ルートづくり ・歴史解説ボランティア養成 ■かわとまちをつなぐイベント利用 ・南口まちづくり、星川周辺のまちづくりとの連携 ・熊谷染め、雪くまなど荒川に係る歴史資源を活かす連携

市民意見：ワークショップ意見、社会実験アンケート（10/6、10/2）、R5市民アンケート（WEB・自治会）（◎：意見が複数あった項目、○：意見があった項目、－：意見のなかった項目）

- 論点1：方針
- 論点2：範囲
- 論点3：ゾーン・主要機能配置
- 論点4：活動

現地視察

- ・地域の魅力探し
- ・地域課題の共有

5月28日

第1回協議会

- ・組織の設置
- ・情報の共有（背景、地域ニーズ、かわまちづくり、論点案）
- 論点1、2 検討①
- ・今後の進め方について

8月8日

第2回協議会

- 論点1、2 審議
- ・論点3、4 検討①
- ・社会実験 検討①

10月6日

社会実験等実施

11月30日

第3回ワークショップ

- 論点4 検討
- 社会実験 検討（評価）
- かわまち申請案 検討

R7.3月下旬

第4回協議会

- 論点1～4 決定
- かわまち申請案 決定

R7年度

かわまち申請書 提出

【地域意見の確認の場】

7月6日

第1回ワークショップ

- 論点1、2、4 検討

8月31日

第2回ワークショップ

- ・論点1 確認
- 論点2、3 検討
- 論点4 検討
- 社会実験 検討（計画）
- かわまちづくり計画と熊谷駅とのつながり等

ワークショップへのご参加
ありがとうございました！